

データヘルス計画（第2期） 年次報告書

[令和3年度]

最終更新日：令和4年08月10日

東京ドーム健康保険組合

STEP 1-1 基本情報

組合コード	25463
組合名称	東京ドーム健康保険組合
形態	単一
業種	複合サービス業

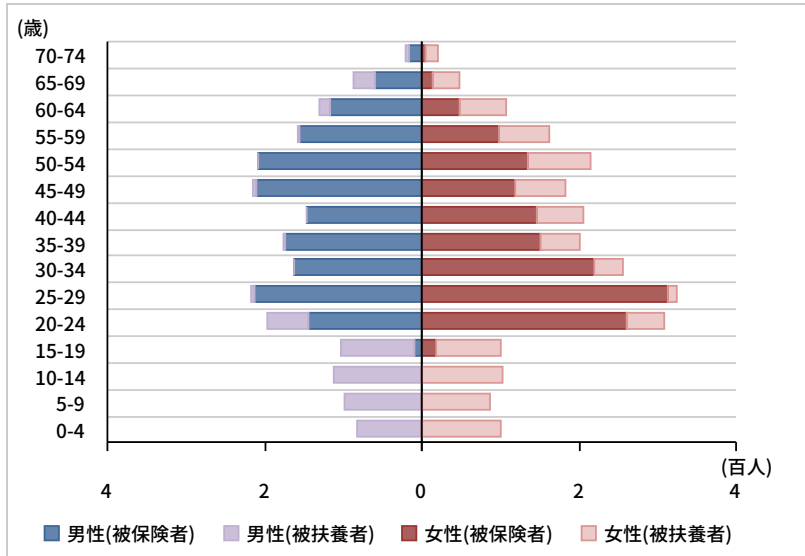
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保険者を除く	3,140名 男性51.4% (平均年齢43歳)* 女性48.6% (平均年齢36歳)*	-名 男性-% (平均年齢-歳)* 女性-% (平均年齢-歳)*	-名 男性-% (平均年齢-歳)* 女性-% (平均年齢-歳)*
特例退職被保険者数	0名	-名	-名
加入者数	4,500名	-名	-名
適用事業所数	13カ所	-カ所	-カ所
対象となる拠点数	4カ所	-カ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	89% ₀₀	-% ₀₀	-% ₀₀

		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	0	0	-	-	-	-
	保健師等	0	0	-	-	-	-
事業主	産業医	0	1	-	-	-	-
	保健師等	1	0	-	-	-	-

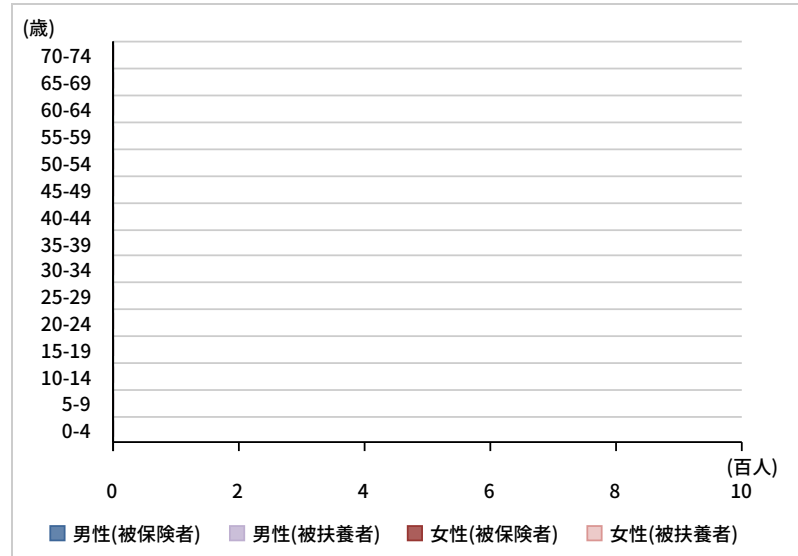
		第2期における基礎数値 (平成28年度の実績値)	
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数÷ 特定健康診査対象者数)	全体	-	-
	被保険者	-	-
	被扶養者	-	-
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数÷ 特定保健指導対象者数)	全体	-	-
	被保険者	-	-
	被扶養者	-	-

		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	2,400	764	-	-	-	-
	特定保健指導事業費	9,100	2,898	-	-	-	-
	保健指導宣伝費	5,890	1,876	-	-	-	-
	疾病予防費	48,910	15,576	-	-	-	-
	体育奨励費	1,700	541	-	-	-	-
	直営保養所費	0	0	-	-	-	-
	その他	100	32	-	-	-	-
	小計 …a	68,100	21,688	0	-	0	-
経常支出合計 …b	1,152	367	-	-	-	-	
a/b×100 (%)	5,911.46		-	-	-	-	

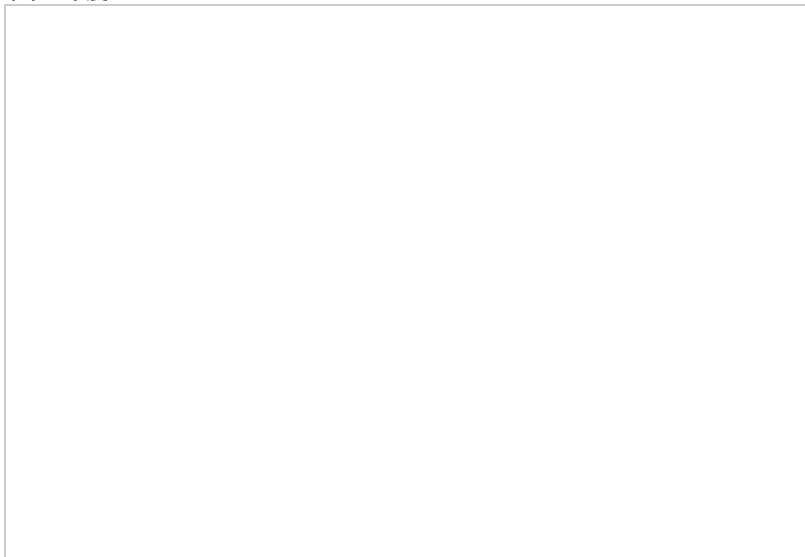
令和3年度



令和4年度



令和5年度



男性（被保険者）

令和3年度				令和4年度				令和5年度			
0~4	0人	5~9	0人	0~4	-人	5~9	-人	0~4	-人	5~9	-人
10~14	0人	15~19	10人	10~14	-人	15~19	-人	10~14	-人	15~19	-人
20~24	144人	25~29	213人	20~24	-人	25~29	-人	20~24	-人	25~29	-人
30~34	163人	35~39	173人	30~34	-人	35~39	-人	30~34	-人	35~39	-人
40~44	146人	45~49	210人	40~44	-人	45~49	-人	40~44	-人	45~49	-人
50~54	209人	55~59	155人	50~54	-人	55~59	-人	50~54	-人	55~59	-人
60~64	117人	65~69	59人	60~64	-人	65~69	-人	60~64	-人	65~69	-人
70~74	16人			70~74	-人			70~74	-人		

女性（被保険者）

令和3年度				令和4年度				令和5年度			
0~4	0人	5~9	0人	0~4	-人	5~9	-人	0~4	-人	5~9	-人
10~14	0人	15~19	19人	10~14	-人	15~19	-人	10~14	-人	15~19	-人
20~24	261人	25~29	313人	20~24	-人	25~29	-人	20~24	-人	25~29	-人
30~34	219人	35~39	150人	30~34	-人	35~39	-人	30~34	-人	35~39	-人
40~44	146人	45~49	119人	40~44	-人	45~49	-人	40~44	-人	45~49	-人
50~54	135人	55~59	98人	50~54	-人	55~59	-人	50~54	-人	55~59	-人
60~64	47人	65~69	14人	60~64	-人	65~69	-人	60~64	-人	65~69	-人
70~74	4人			70~74	-人			70~74	-人		

男性（被扶養者）

令和3年度				令和4年度				令和5年度			
0~4	82人	5~9	99人	0~4	-人	5~9	-人	0~4	-人	5~9	-人
10~14	113人	15~19	93人	10~14	-人	15~19	-人	10~14	-人	15~19	-人
20~24	53人	25~29	4人	20~24	-人	25~29	-人	20~24	-人	25~29	-人
30~34	1人	35~39	2人	30~34	-人	35~39	-人	30~34	-人	35~39	-人
40~44	1人	45~49	5人	40~44	-人	45~49	-人	40~44	-人	45~49	-人
50~54	1人	55~59	2人	50~54	-人	55~59	-人	50~54	-人	55~59	-人
60~64	13人	65~69	28人	60~64	-人	65~69	-人	60~64	-人	65~69	-人
70~74	5人			70~74	-人			70~74	-人		

女性（被扶養者）

令和3年度				令和4年度				令和5年度			
0~4	101人	5~9	86人	0~4	-人	5~9	-人	0~4	-人	5~9	-人
10~14	103人	15~19	83人	10~14	-人	15~19	-人	10~14	-人	15~19	-人
20~24	48人	25~29	11人	20~24	-人	25~29	-人	20~24	-人	25~29	-人
30~34	36人	35~39	51人	30~34	-人	35~39	-人	30~34	-人	35~39	-人
40~44	59人	45~49	65人	40~44	-人	45~49	-人	40~44	-人	45~49	-人
50~54	80人	55~59	65人	50~54	-人	55~59	-人	50~54	-人	55~59	-人
60~64	59人	65~69	34人	60~64	-人	65~69	-人	60~64	-人	65~69	-人
70~74	16人			70~74	-人			70~74	-人		

基本情報から見える特徴

被保険者は、男性が55%占めている。
 健保には、医療職スタッフが不在であり、保健事業には、事業主と委託先の協力が不可欠
 特定保健指導の実施率が低く、被扶養者においては未実施である。
 今後、中高齢者の医療費が伸びていくことが予想される。

STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

保健事業の整理から見える特徴

実現可能性が高く、コスト面も勘案されて考えられる保健事業を行っている。

事業の一覧

職場環境の整備	
その他	現場環境の整備
加入者への意識づけ	
その他	加入者への意識づけ・個別的信息提供ツール
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健診（被保険者）
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	ホームページ運営
疾病予防	人間ドック
疾病予防	婦人科健診
疾病予防	大腸がん検診
疾病予防	子宮がん検診
疾病予防	常備薬の配布
疾病予防	インフルエンザ予防接種補助
体育奨励	遠隔地体育行事補助
体育奨励	健康イベント
事業主の取組	
1	定期健康診断

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
職場環境の整備													
その他	7	現場環境の整備	事業主による必要な健康対策実施 従業員自らの健康状況の認識を向上させ、生活習慣を改善させる	被保険者	全て	男女	18～74	全員	-	-	-	-	-
加入者への意識づけ													
その他	1,2,4	加入者への意識づけ・個別的情報提供ツール	加入者の健康意識を高め、自発的な健康の維持、改善行動を促す目的で、本人の健診データに基づく個性を重視した「情報提供」を実施する	被保険者 被扶養者	全て	男女	18～64	基準該当者	-	定期健康診断終了後3ヶ月以内	治療放置者の重症化予防効果があった	まだ未受診者がいるので、再度促す必要がある	4
個別の事業													
特定健康診査事業	1,2,3,4,5	特定健診(被保険者)	メタボリックシンドロームに注目した健康状況の把握及びリスク者のスクリーニング。 更なる受診率の向上	被保険者	全て	男女	40～74	全員	2,500	受診者 370名	成功者に健康に対しての意識が浸透	告知の更なるパワーアップが必要	4
特定保健指導事業	2	特定保健指導	メタボリックシンドロームの減少を目的とした保健指導の実施 実施率向上を目指し、事業主と連携を緊密に図る	被保険者	全て	男女	40～74	基準該当者	3,536	・動機づけ支援 56名 ・積極支援 56名	対象者への積極的な声かけ	業務多忙により積極的な協力が得られない	4
保健指導宣伝	2	ホームページ運営	加入者への情報媒体として継続	被保険者 被扶養者	全て	男女	18～74	全員	1,500	情報提供ならびに啓蒙活動を積極展開	随時更新、リニューアルすることにより魅力アップ	アクセス数アップが課題	4
疾病予防	2,5	人間ドック	従来より実施 特定健診の補完施策として継続する	被保険者 被扶養者	全て	男女	30～74	全員	8,240	受診者 200名	一度健診を受けた施設を受診者が気に入り、リピーターとして受診する傾向にある	提携受診施設の定期的な見直し	2
	2,3	婦人科健診	従来より実施 女性の健康課題に対応する目的で、婦人科疾患に特化した健診メニューを提供 最適なメニューについて検討する	被保険者 被扶養者	全て	女性	30～74	全員	9,270	受診者 300名	一度健診を受けた施設を受診者が気に入り、リピーターとして受診する傾向にある	提携受診施設の定期的な見直し	2
	2,3	大腸がん検診	がんを早期発見、早期治療のための健診受診	被保険者 被扶養者	全て	男女	30～74	全員	1,100	検診者 500名	大腸がんリスクの意識が向上し人数増加傾向	現在の方法である郵送方式の見直し	2
	2,3	子宮がん検診	がんを早期発見、早期治療のための健診受診	被保険者 被扶養者	全て	男女	30～74	全員	180	検診者 50名	受診者は人間ドック含む	受診者増のため実施告知の推進、拡大	2
	2	常備薬の配布	各家庭で必要な常備薬の斡旋(一部補助あり)	被保険者	全て	男女	18～74	全員	2,600	申込者 2600名	人数が年々増加傾向にある	選択できる薬を需要のある薬への見直し	4
	2	インフルエンザ予防接種補助	インフルエンザ感染予防の一環	被保険者	全て	男女	18～74	全員	9,100	受診者 2600名	接種者が毎年増加傾向にある	補助金増、事業所での接種機会増を検討	4
体育奨励	7	遠隔地体育行事補助	遠隔地で実施した体育行事参加者に補助	被保険者	全て	男女	18～74	全員	1,500	開散期	毎年のレクリエーション健康イベントとして参加者には好評である	札幌、熱海の実施。被保険者の比較的多い水道橋での開催を検討	2

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
	2,5	健康イベント	事業主・労働組合・健康保険組合の共催による実施	被保険者	全て	男女	18 ～ 74	全員	1,080	7月 ボウリング大会 50名 10月 ソフトボール大会 100名	老若男女の参加	天候及び告知方法	3

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 訪問指導 8. その他


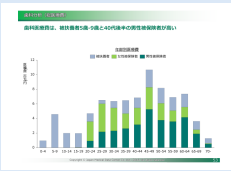
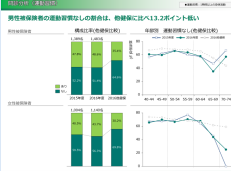
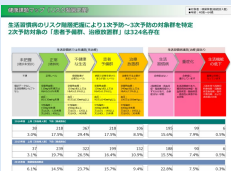



注2) 1. 39%以下 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%

事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同 実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								
定期健康診断	安衛法に基づく健診	被保険者	男女	18 ～ 64	・実施率 92%	勤務時間中の受診可	任意継続者の受診増加	有

STEP 1-3 基本分析

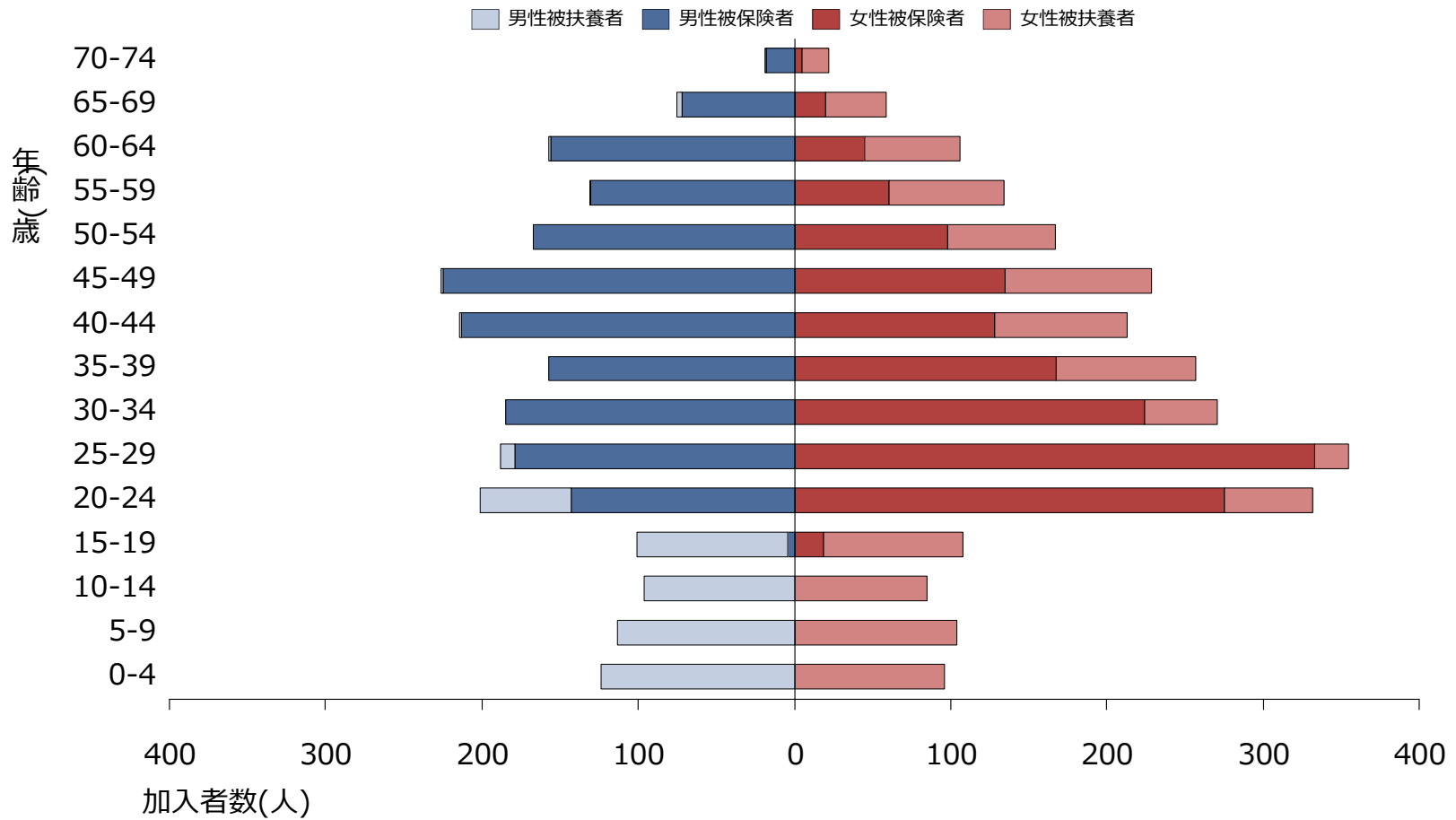
登録済みファイル一覧

記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		2016年度 属性・年代別加入者構成割合	加入者構成の分析	男性被保険者は、20代が多く、50代が少ない。 女性被保険者も、20代が多く、40代～50代が少ない。
イ		2015年度-2016年度 後発医薬品使用状況	後発医薬品分析	2017年3月の数量割合は64.7%で、他健保と比べ2.7ポイント低い。
ウ		2015-2016年度 健診受診状況	特定健診分析	2016年度被保険者の健診受診率は95.1%、他健保に比べ5.1ポイント高い。 被扶養者の健診受診率は28.4%で、他健保に比べ20.1ポイント低い。
エ		2015年度-2016年度 医療費分析	医療費・患者数分析	総医療費は前年比-600万円、被扶養者の医療費変化-1,300万円が大きい。 医療費因数分解より、患者あたり医療費の変化-4.7%が要因。 医療費レンジより、総患者数は前年比+153人、 年間医療費500万円以上の高額患者は-8人で、医療費は-6,100万円。
オ		2015年度-2016年度 疾病分析	医療費・患者数分析	医療費構成割合が高い疾病の受療率分析より 内分泌系、循環器系、新生物は、受療率は低い为患者あたり医療費は高い。 疾病別構成比でみると、生活習慣病は全医療費の17.9%を占める。 医療費に占める割合の大きさと、保健事業としての予防可能性の観点から、 現役世代の生活習慣病予防や重症化予防が重要。
カ		2015年度-2016年度 がん分析	健康リスク分析	診療開始日年齢分析より、若年層から受療しており、早期発見・治療のため、 検診開始年齢の検討を推奨する。

キ		2015年度-2016年度 精神疾患分析	健康リスク分析	うつ病の患者数は、男性被保険者の40代～50代が多い。
ク		2016年度 歯科分析	医療費・患者数分析	歯科医療費は、被扶養者5歳～9歳と40代後半の男性被保険者が高い。
ケ		2015年度-2016年度 健診分析（運動習慣）	健康リスク分析	男性被保険者の運動習慣なしの割合は、他健保に比べ13.2ポイント低い
コ		健康課題マップ	健康リスク分析	健康課題マップより、未把握は38人(3.0%) 他健保は6.1%。 患者予備軍は218人(17.5%) 他健保15.7%。 治療放置群は106人(8.5%) 他健保9.4%。 生活習慣病は195人(15.6%) 他健保22.8%。
サ		流入出分析	特定保健指導分析	2015年度対象者208人から2016年度221人へ増えている。
シ		重症化予防	健康リスク分析	治療放置群分析より、対象者367人のうち、21人が高リスク者である。 CKDステージマップ分析より、G3a以上のリスク者81人のうち、46人は未受診者である。 治療中断者分析より、治療中断者30人のうち、12人は健診値もアンコントロールである。
ス		事業所分析	その他	事業所別データ ・喫煙率 ・運動習慣 ・特定保健指導対象者割合 ・特定保健指導対象者と指導参加意欲 ・うつ病受療率 ・治療法知者割合

加入者特性〈年代別加入者構成〉

性年齢・属性別加入者構成図



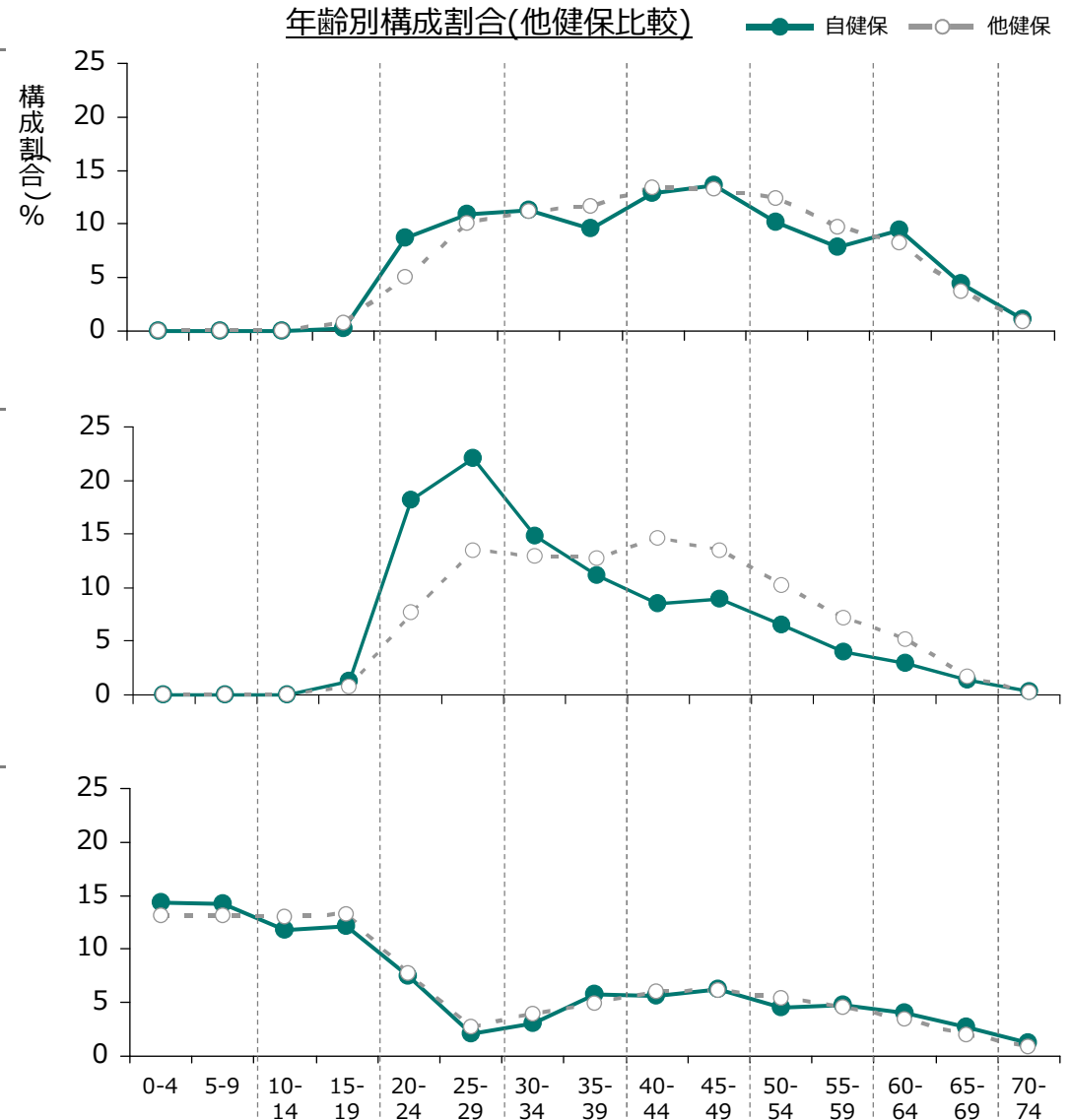
■ 年度：2016年度
 ■ 属性：被保険者/被扶養者
 ■ 対象：期間内に一日でも在籍(加入)していた人数

女性被保険者は、20代が多く、40代~50代が少ない

男性被保険者

女性被保険者

被扶養者

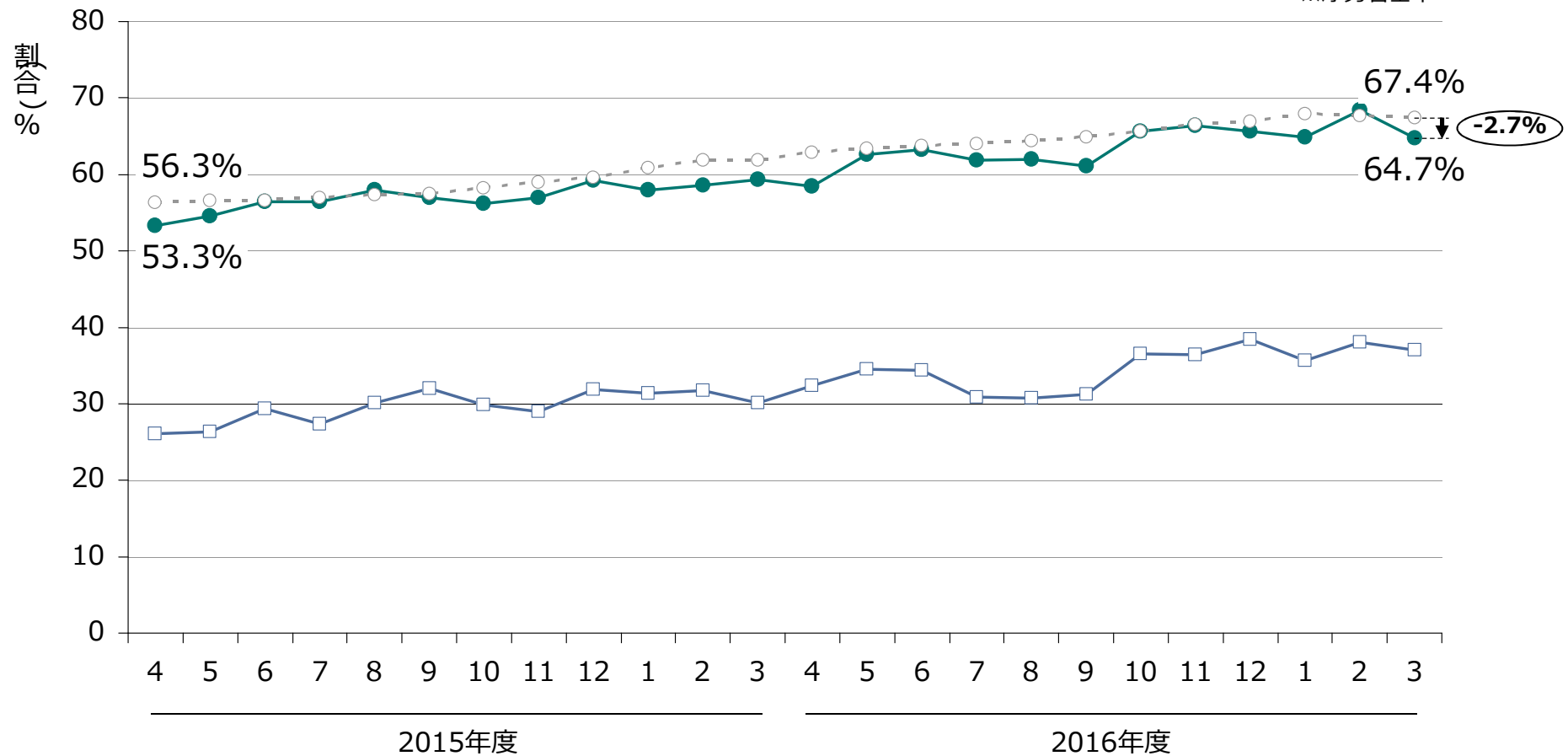


2017年3月の数量割合は64.7%で、他健保と比べ2.7ポイント低い

後発医薬品 数量・薬剤費割合推移(他健保比較)

● 数量割合 □ 薬剤費割合 ○ 他健保数量割合

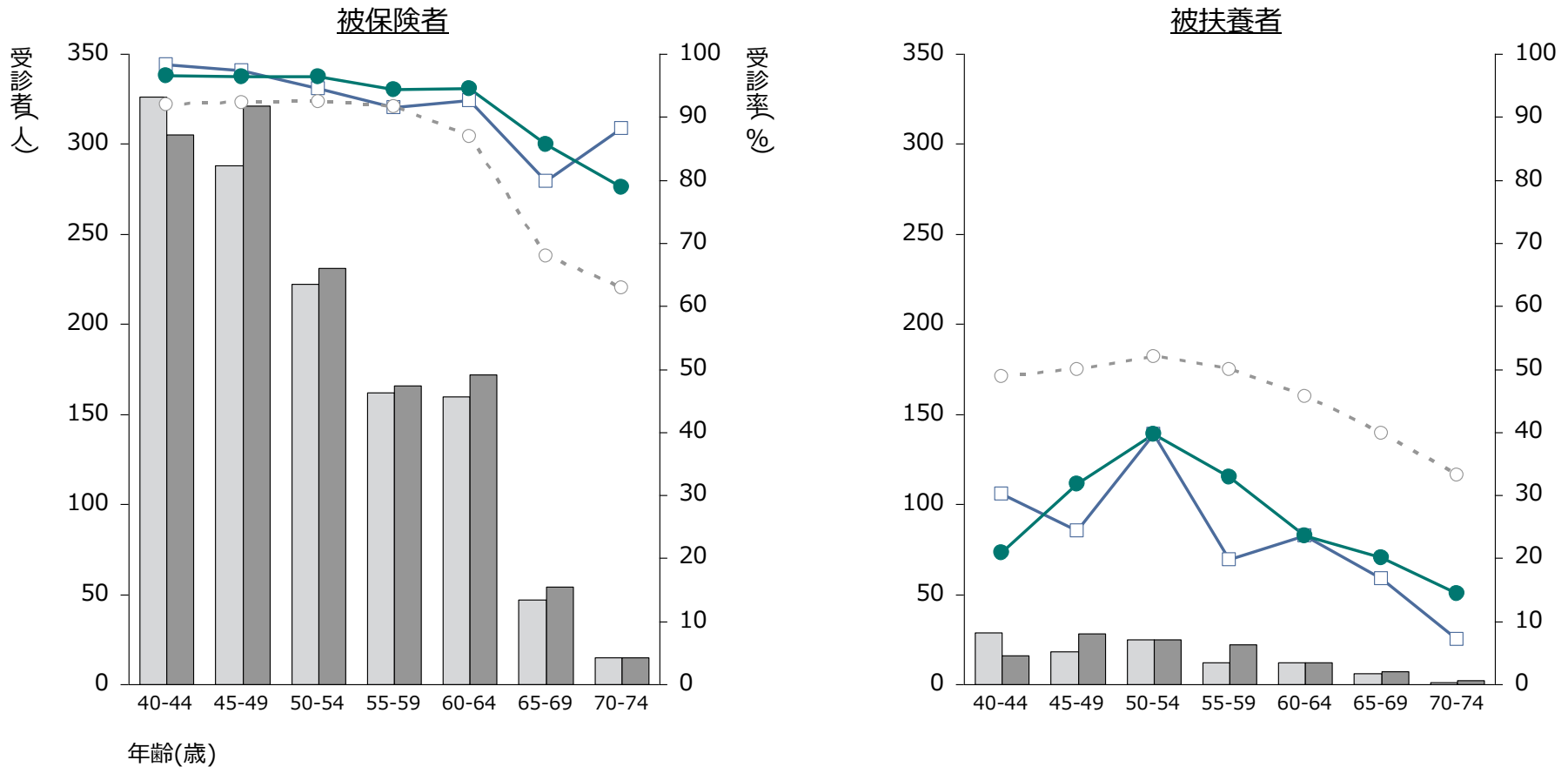
※厚労省基準



2016年度被保険者の健診受診率は95.1%、他健保に比べ5.1ポイント高い
被扶養者の健診受診率は28.4%で、他健保に比べ20.1ポイント低い

年齢・属性別健診受診状況

2015年度受診者数
 2016年度受診者数
 2015年度受診率
 2016年度受診率
 2016年度他健保受診率



年度：2015-2016年度
 属性：被保険者/被扶養者
 対象：40歳以上の各年度毎の継続加入者

- 対象者：2016年度継続加入者の内、2016年度健診未受診者
- 所見定義：特定保健指導域の検査数値
- 通院履歴定義：下記いずれかに該当(2016年度内)
 - ・3か月に1回以上の通院有り(医科レセプト全て)
 - ・6ヶ月で生活習慣病の血液検査が1回以上有り

健診未受診者を各パターン別に分類 被扶養者の93%は、2年連続健診未受診者で占められてる

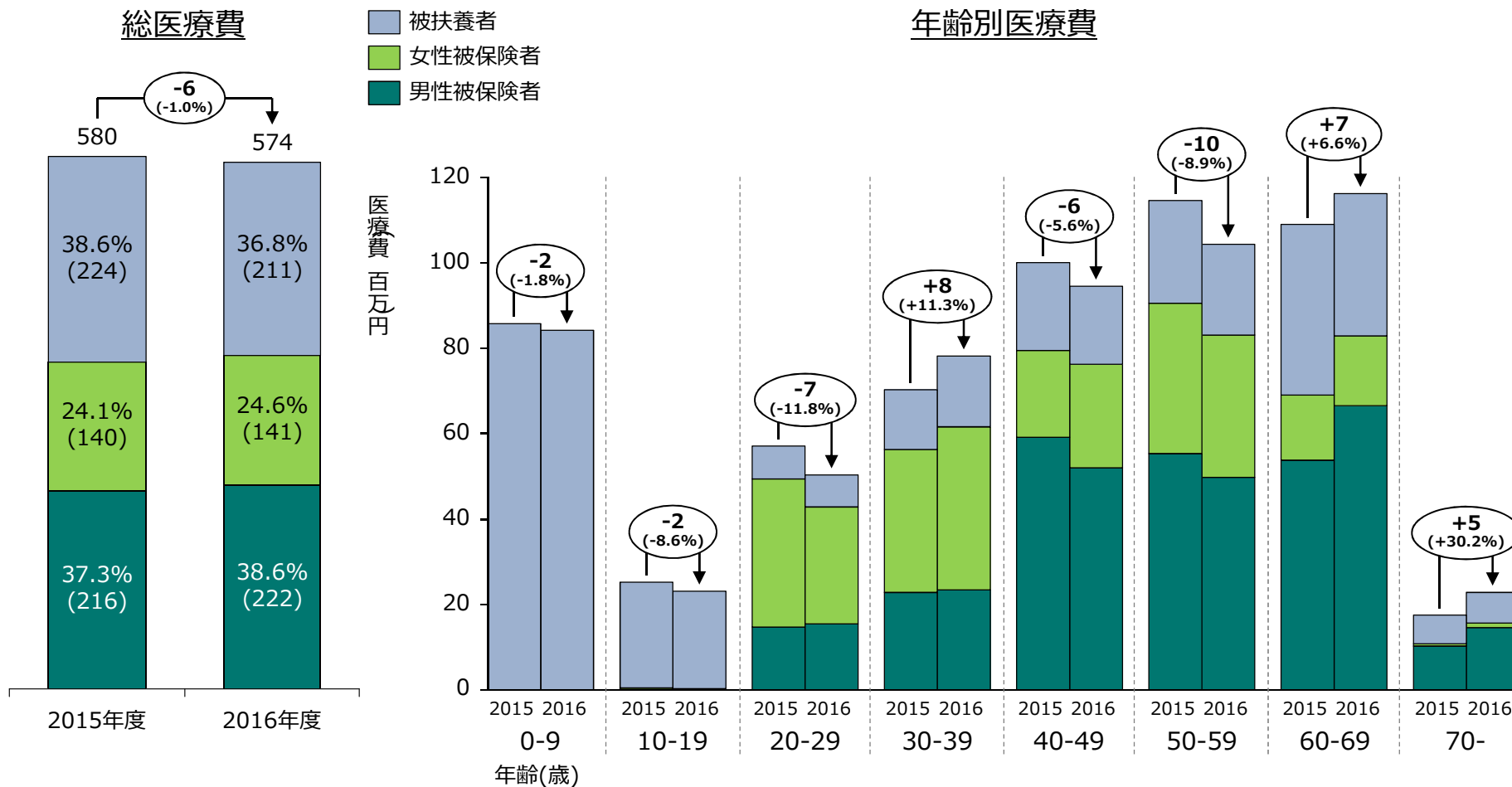
未受診背景類推型パターン分析

分類	2015年度 健診	2015年度 所見有無	通院 履歴	被保険者		被扶養者	
				人数	構成	人数	構成
パターン ①	○	○	○	11	21.2%	5	2.1%
パターン ②	○	○	×	6	11.5%	7	2.9%
パターン ③	○	×	○	5	9.6%	3	1.2%
パターン ④	○	×	×	5	9.6%	2	0.8%
パターン ⑤	×	-	○	9	17.3%	118	48.6%
パターン ⑥	×	-	×	16	30.8%	108	44.4%
合計				52		243	

医療費分析 〈総医療費〉

総医療費は前年比 - 6百万円

男性被保険者は+ 6百万円、女性被保険者は+ 1百万円、被扶養者は - 13百万円



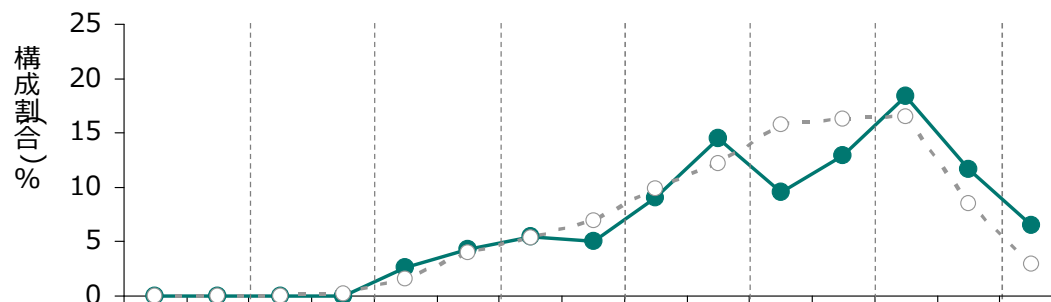
■対象レセプト：
入院(DPC含む)・入院外・調剤・歯科

医療費分析〈2016年度 年齢階層別の医療費構成割合〉

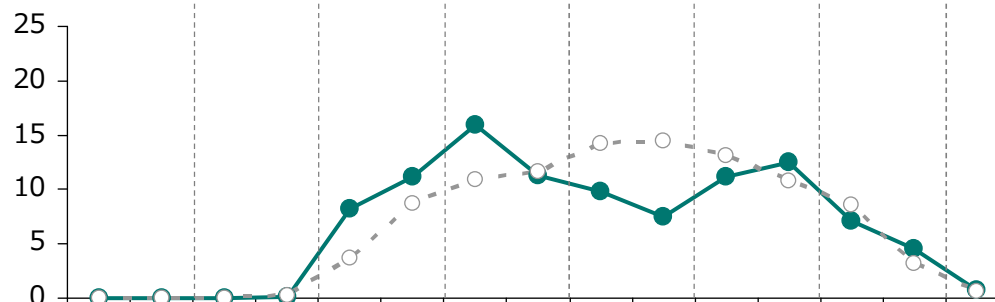
男性被保険者

年齢別医療費構成割合(他健保比較)

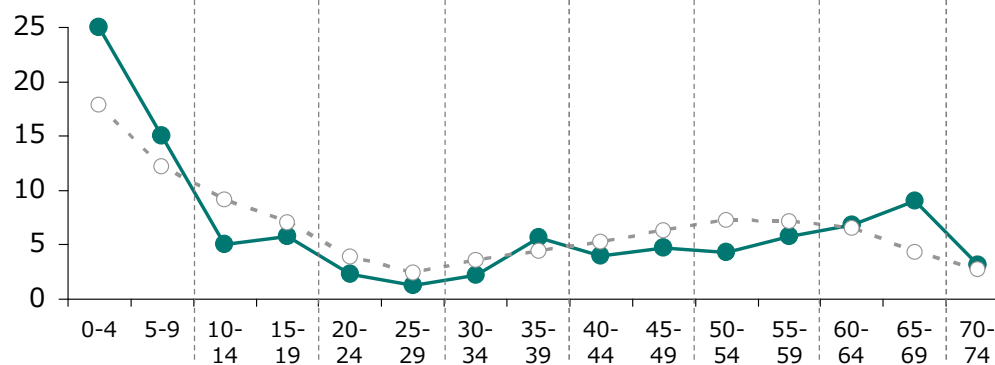
● 自健保 ○ 他健保



女性被保険者

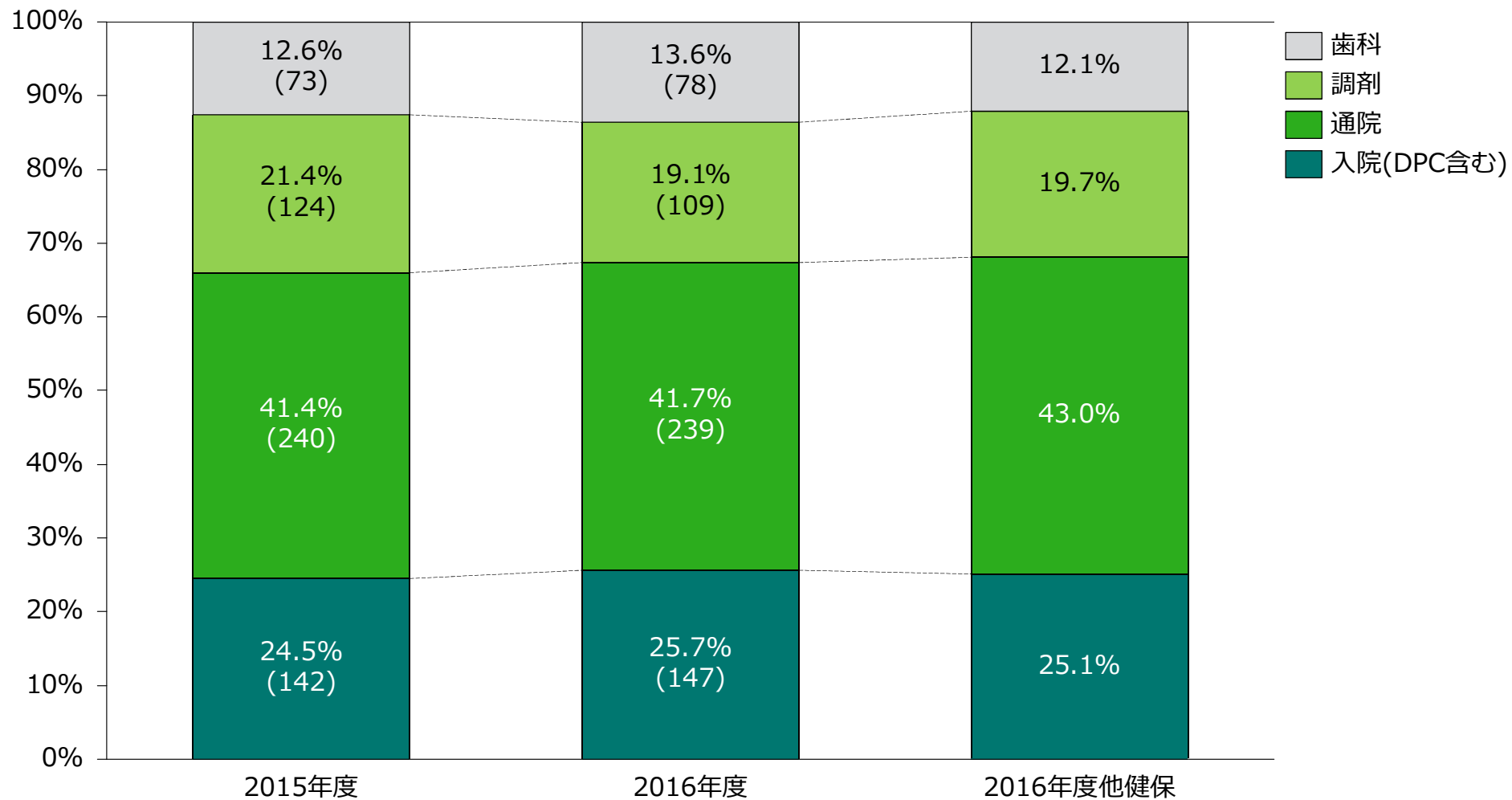


被扶養者

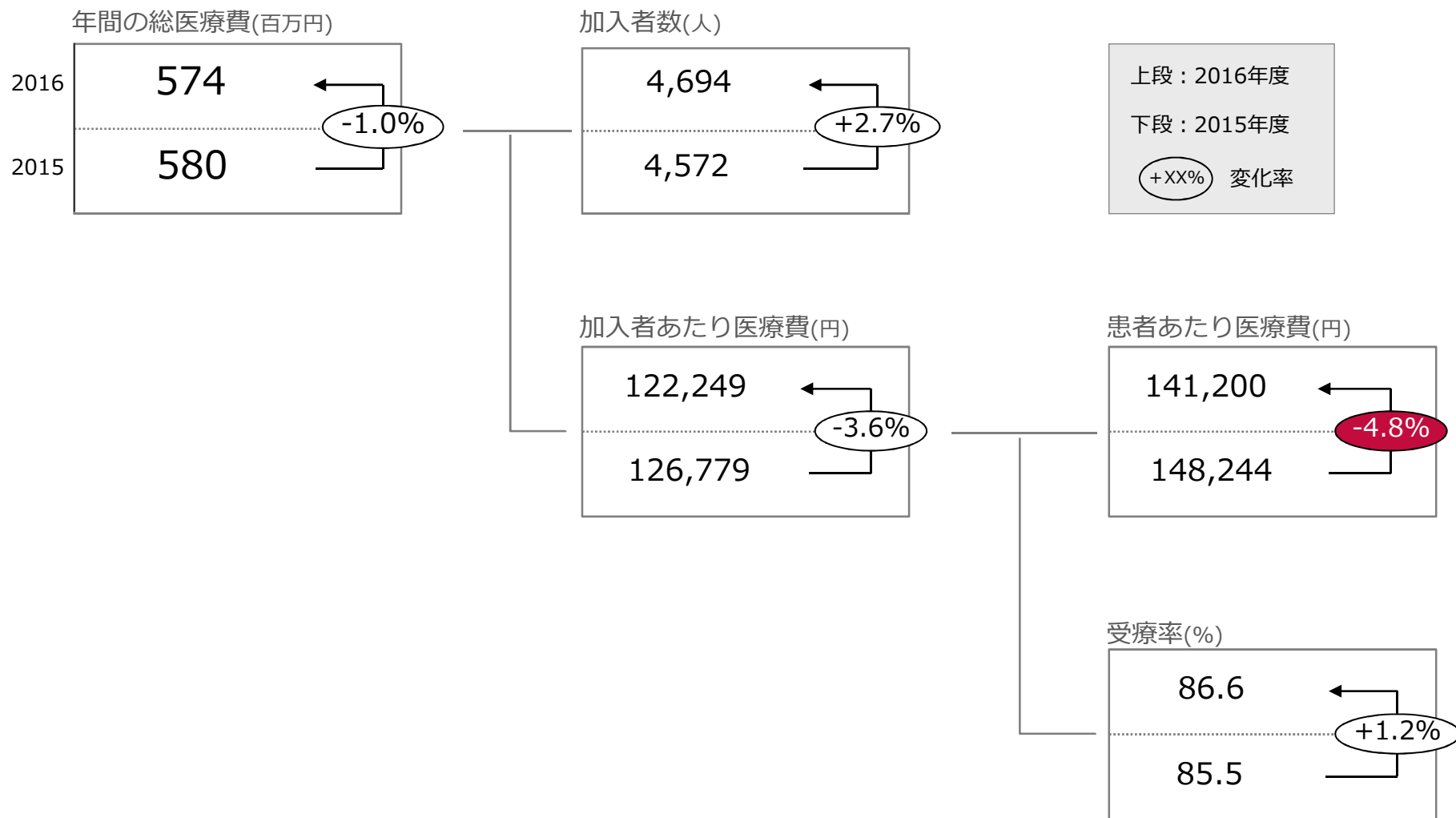


医療費分析 〈レセプト種別毎の医療費構成割合〉

レセプト種別毎 医療費構成割合

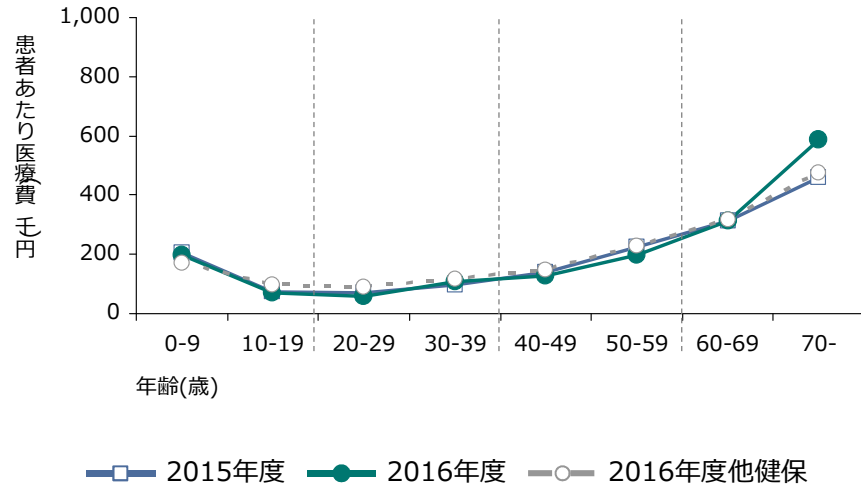


総医療費は昨年比-1.0%
患者あたり医療費の変化-4.8%が要因

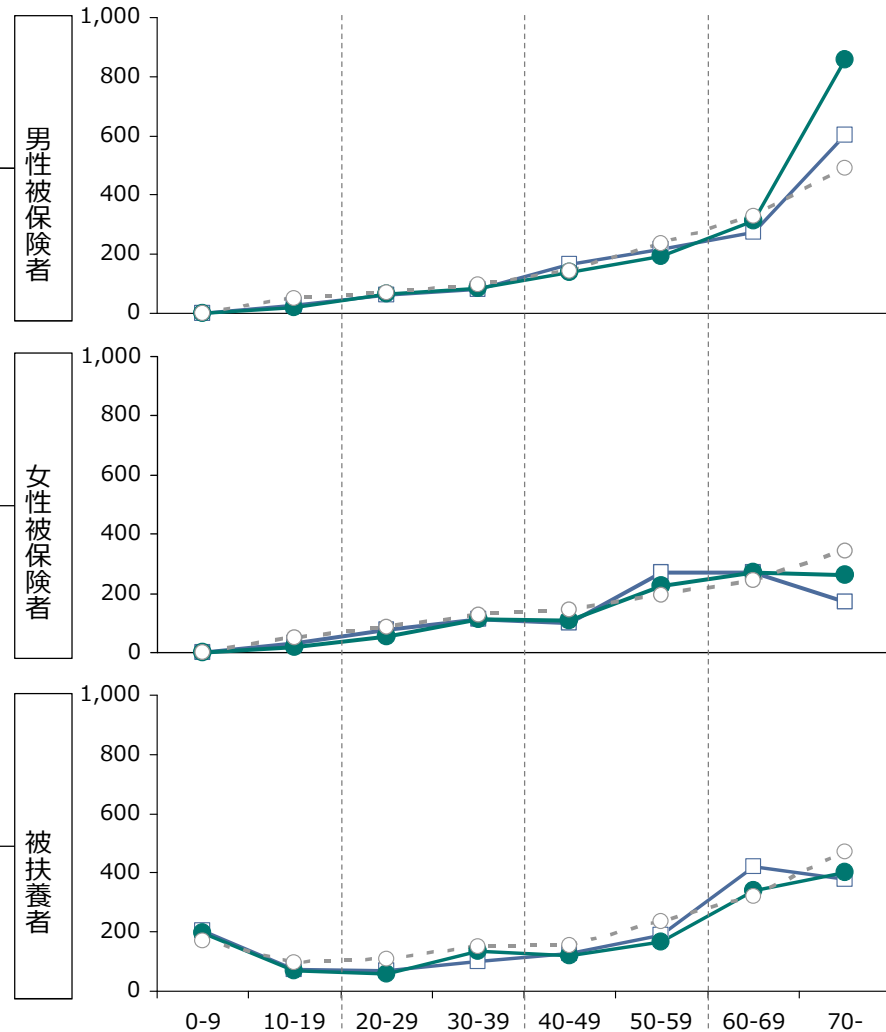


加齢とともに患者一人当たり医療費が増加している

健保全体 年齢別患者ひとりあたり医療費



属性毎 年齢別患者ひとりあたり医療費



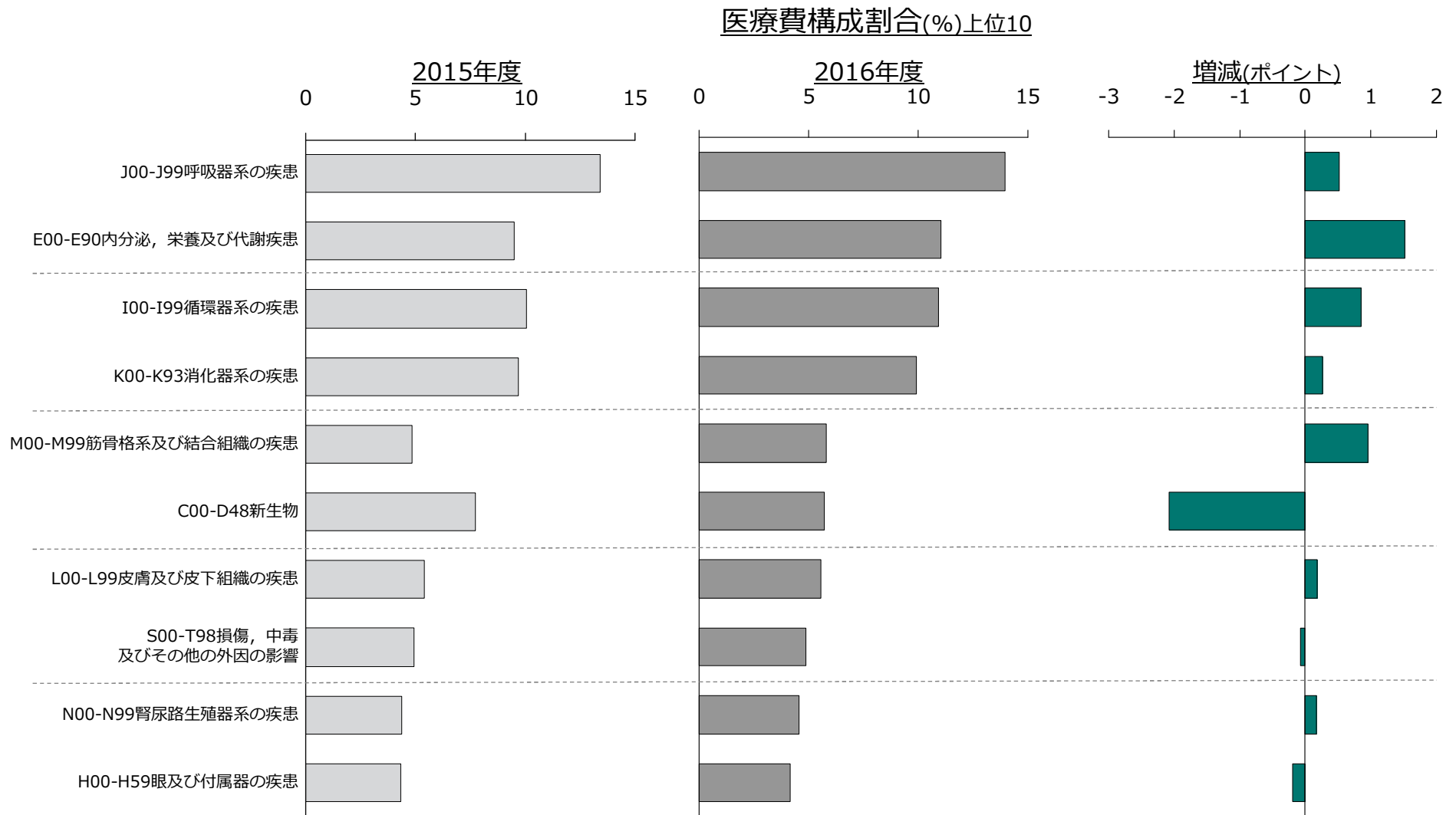
患者数合計は増加しているが、
500万以上の高額患者は8名減少し、医療費合計を押し下げている

医療費レンジ 年度比較

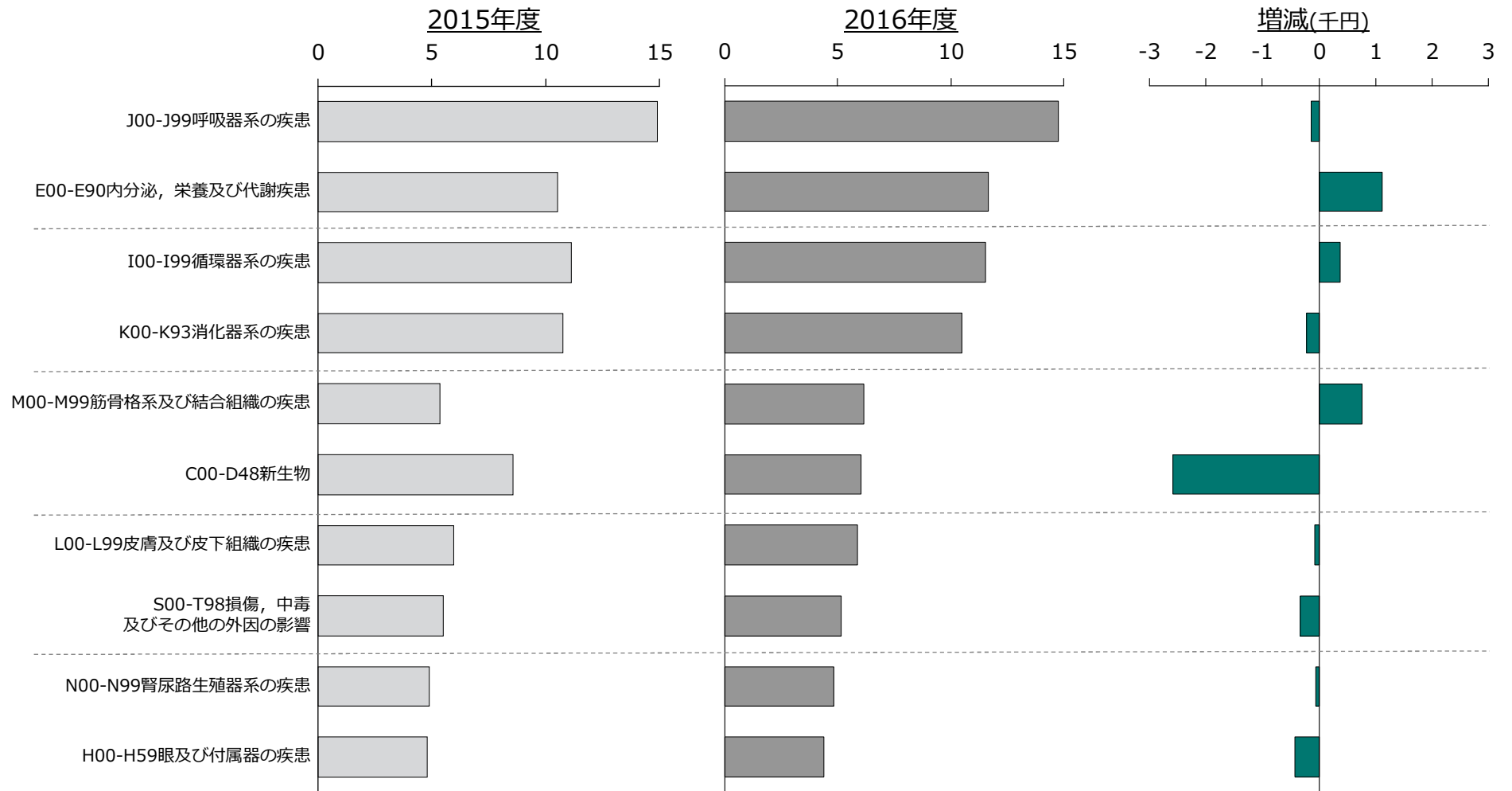
年間医療費レンジ	実患者数(人)		実患者数増減 (2016-2015)	医療費(百万円)		医療費増減 (2016-2015)
	2015年度	2016年度		2015年度	2016年度	
-10万円未満	2,584	2,739	155	102	107	5
10-49万円	1,190	1,167	-23	242	240	-2
50-99万円	79	86	7	53	58	5
100-199万円	27	38	11	37	53	16
200-299万円	8	17	9	18	42	23
300-399万円	4	5	1	14	17	3
400-499万円	4	5	1	17	22	5
500万円-	14	6	-8	97	36	-61
合計	3,910	4,063	153	580	574	-6



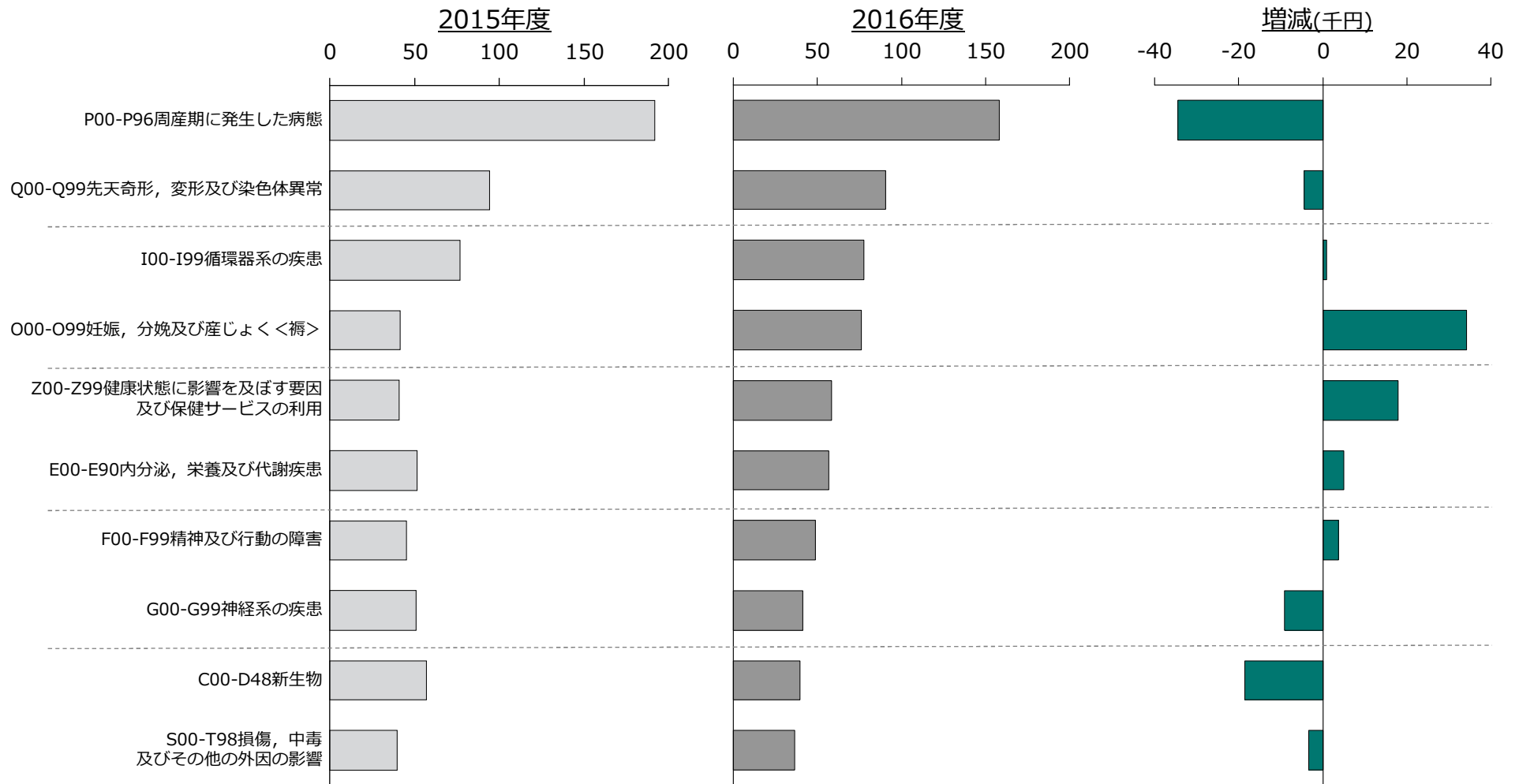
トップ5は、呼吸器(風邪・花粉症など)・内分泌(糖尿病など)
循環器(高血圧、脳卒中など)・消化器(胃炎など)・筋骨格(骨折など)



加入者ひとりあたり医療費(千円)上位10

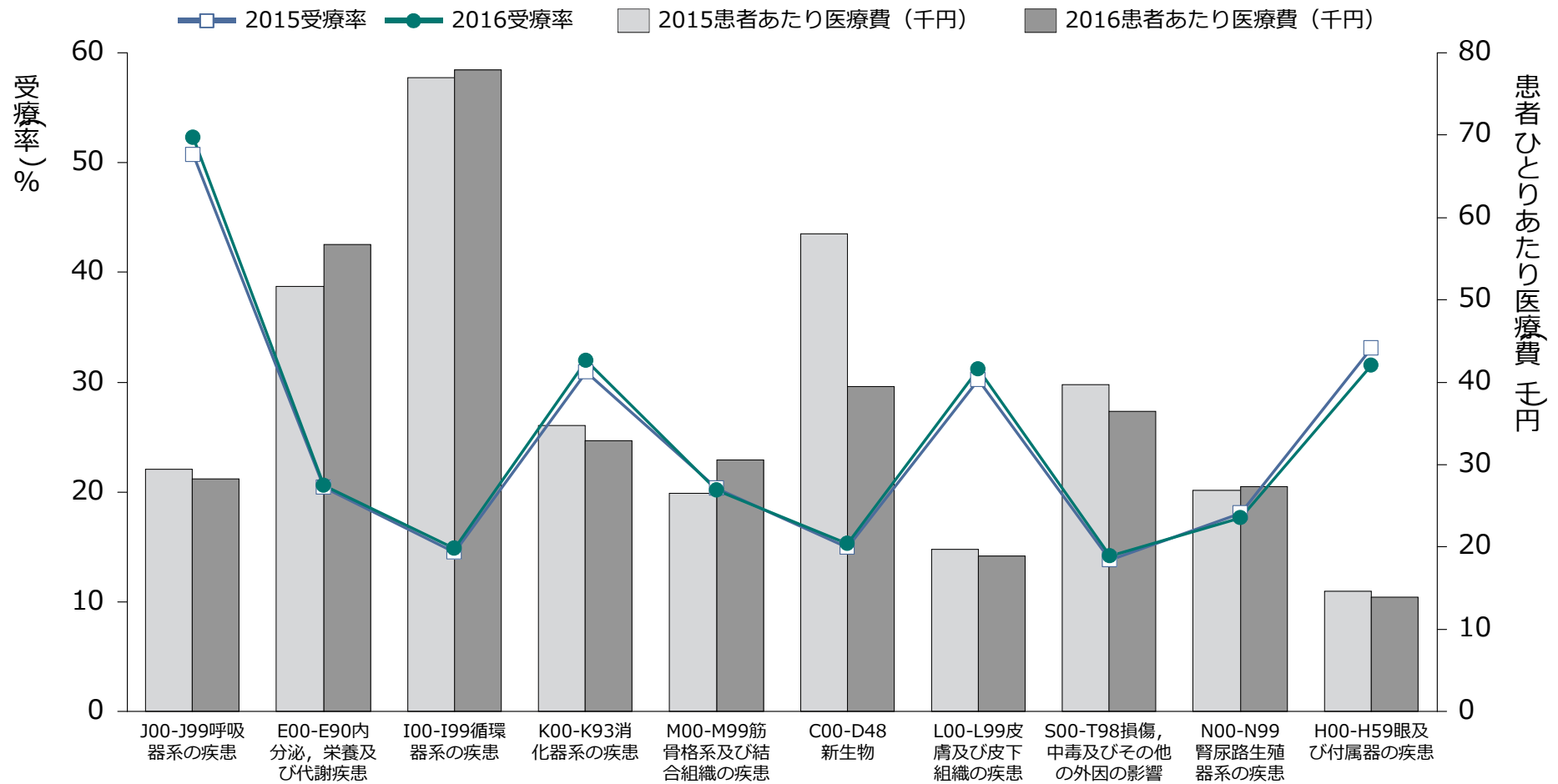


患者ひとりあたり医療費(千円)上位10

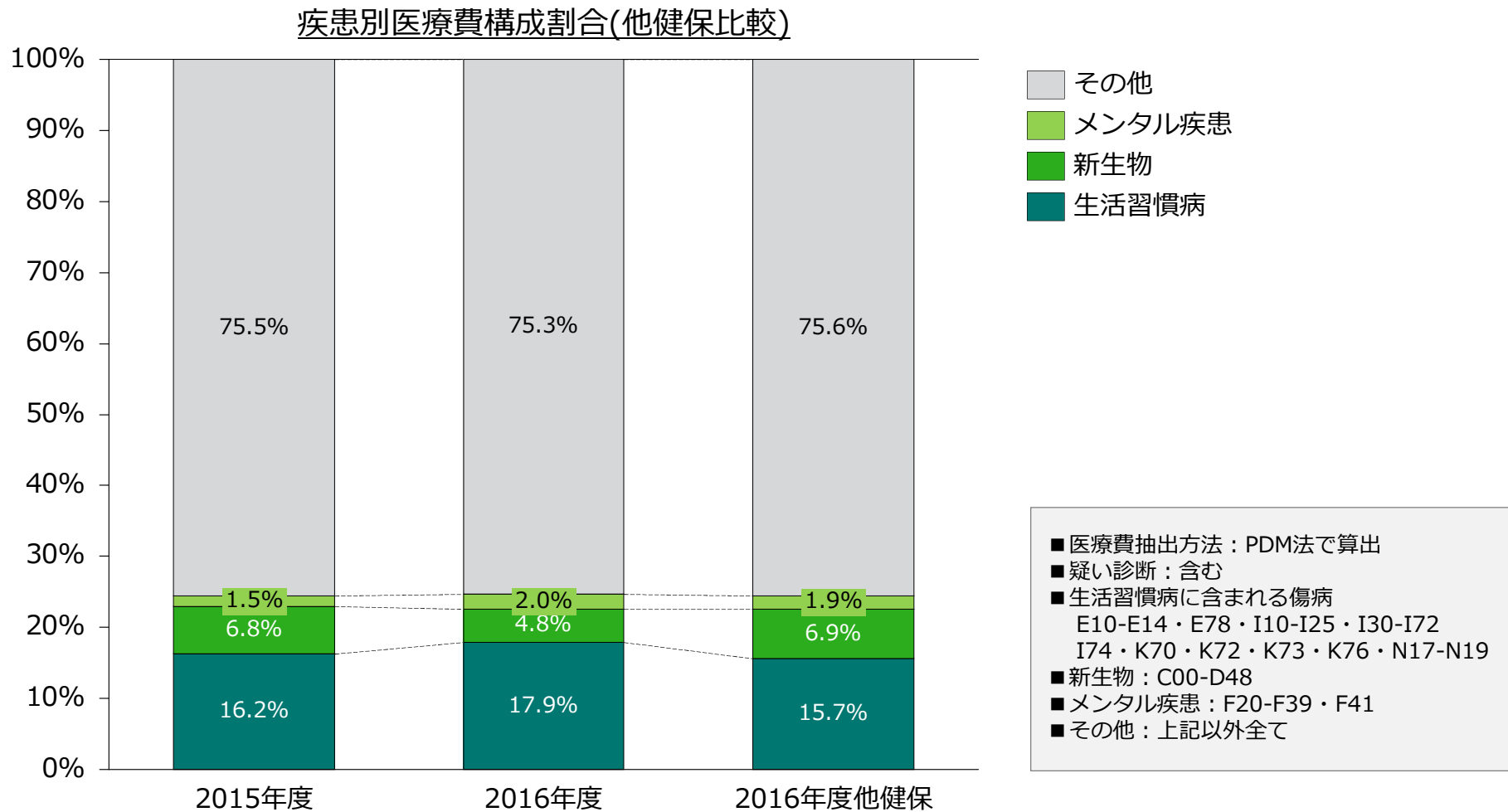


内分泌系・循環器系・新生物は、受療率は低いが患者あたり医療費は高い

医療費構成割合上位10の受療率(%)と患者あたり医療費(千円)



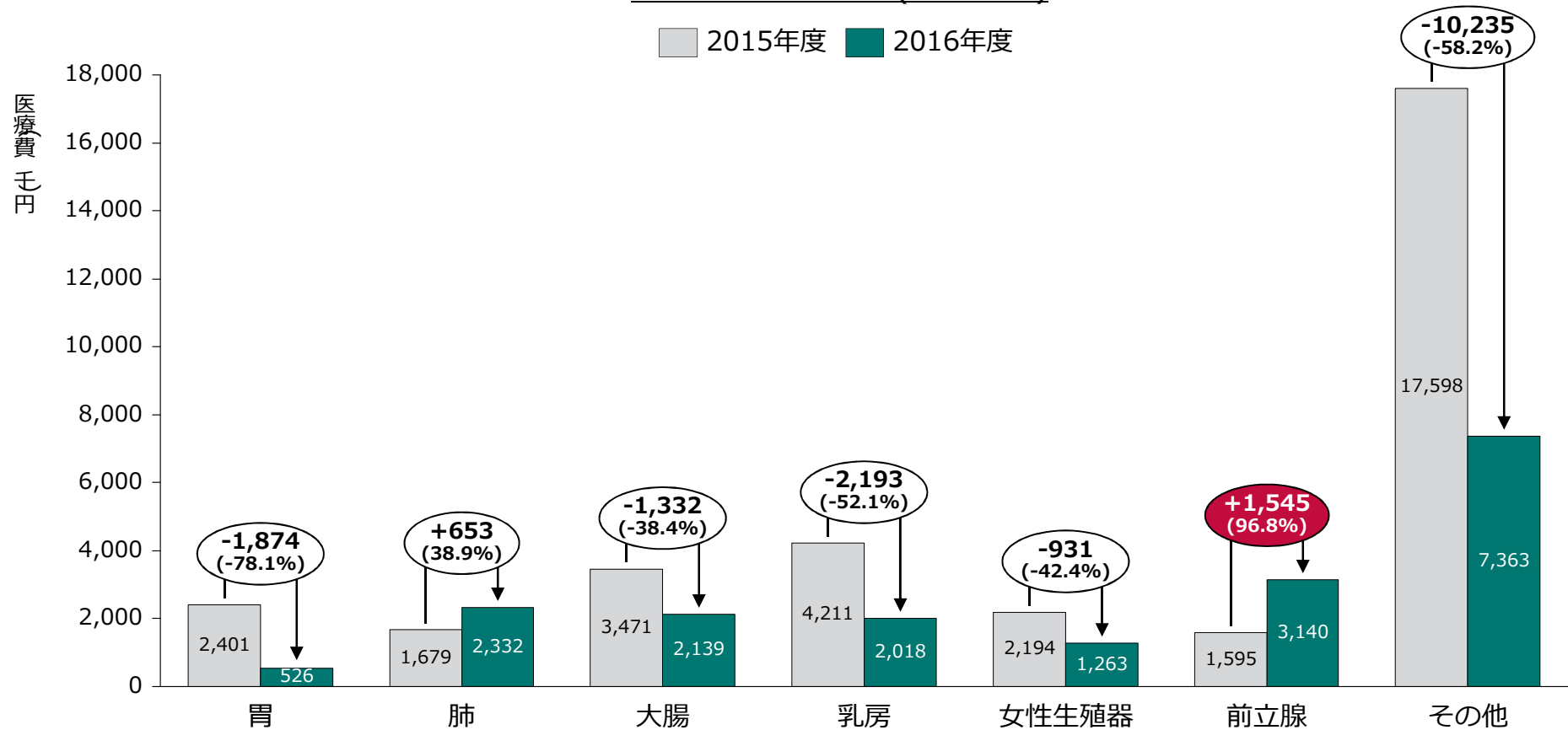
疾病別構成比で見ると、生活習慣病は全医療費の17.9%を占める



その他を除くがん種別では、前立腺がんの医療費が最も高く
昨年比96.8%増加している

がん 疾病別医療費(経年比較)

■ 2015年度 ■ 2016年度

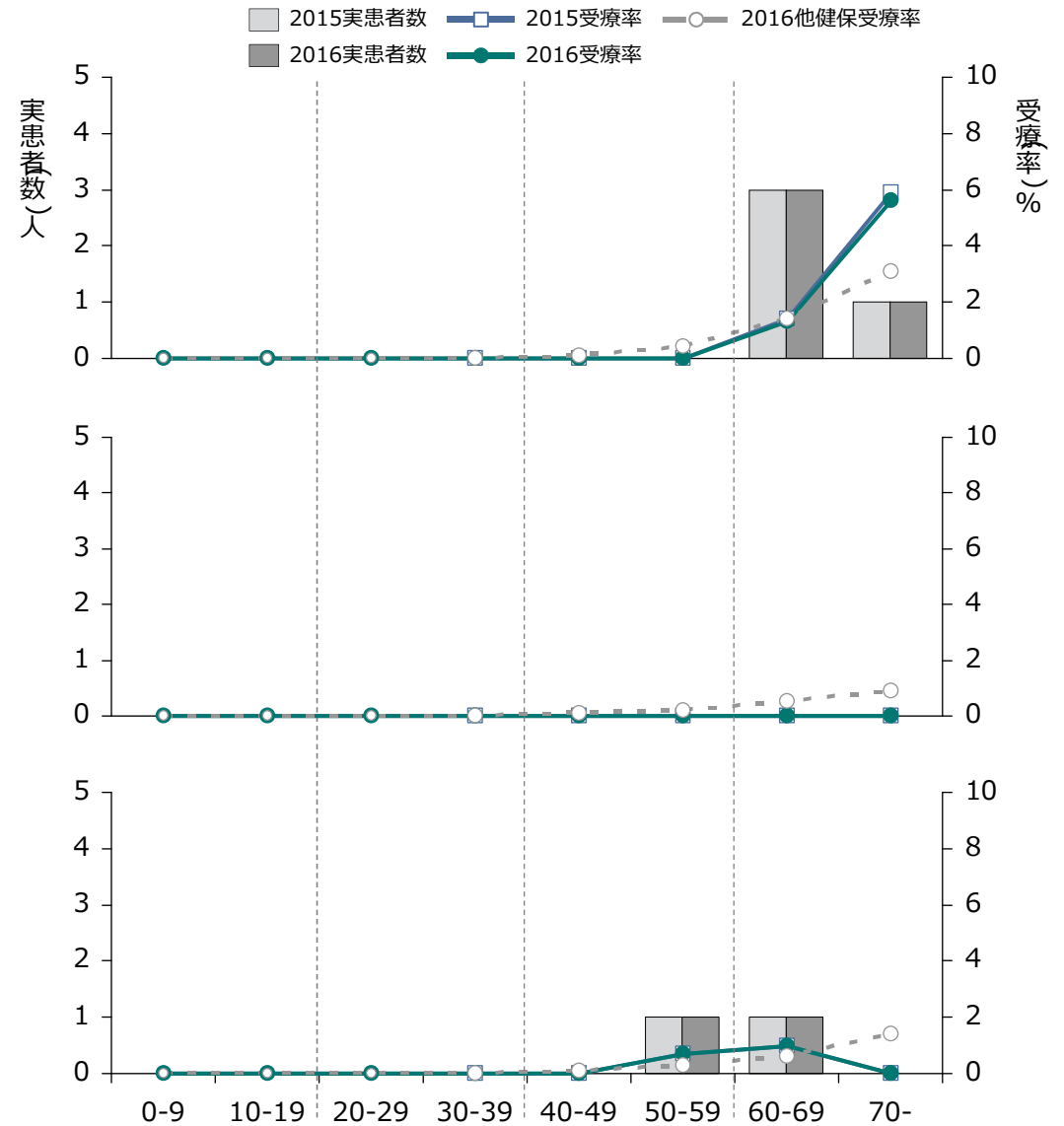


※PDM法で算出

男性被保険者

女性被保険者

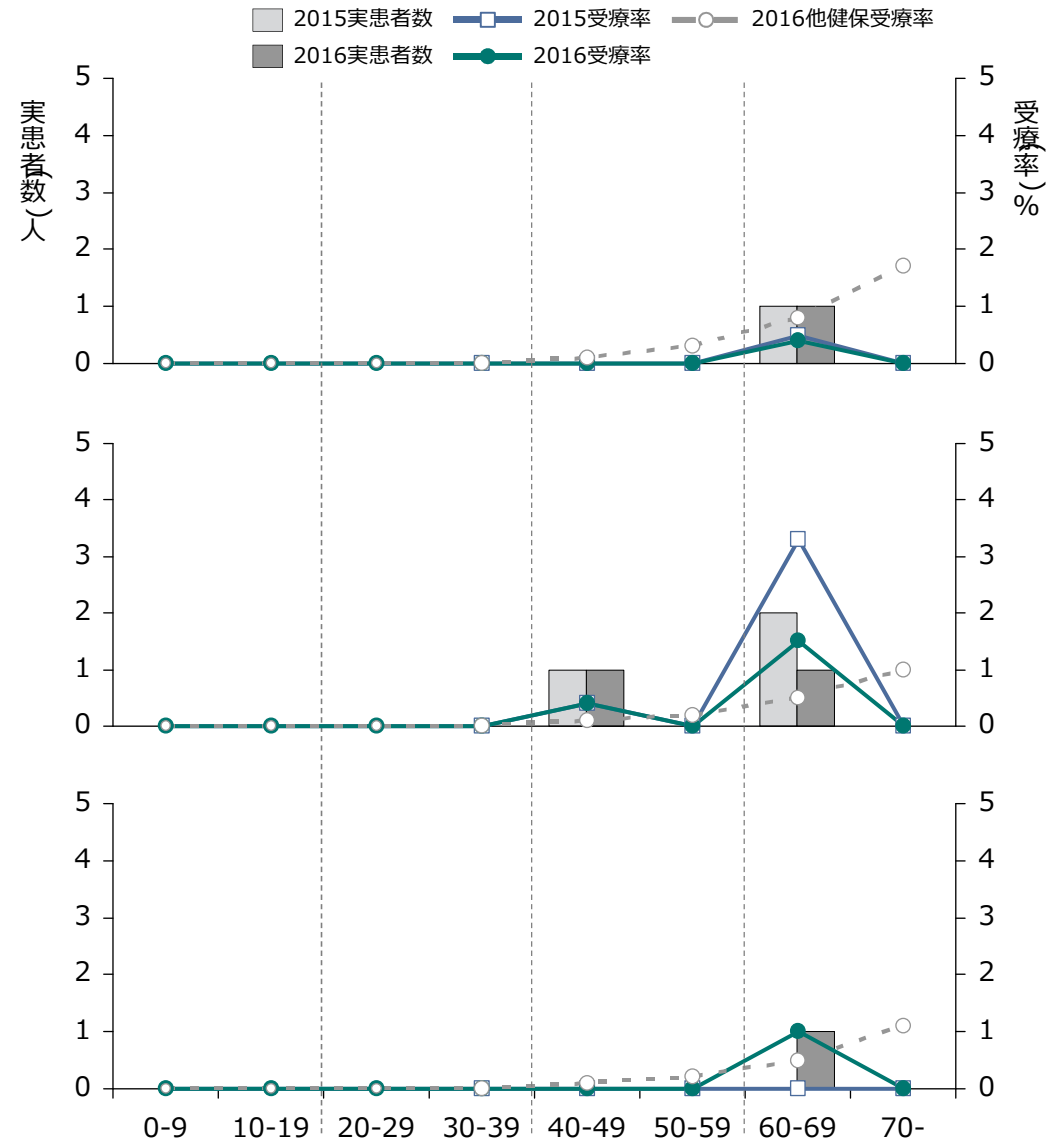
被扶養者



男性被保険者

女性被保険者

被扶養者



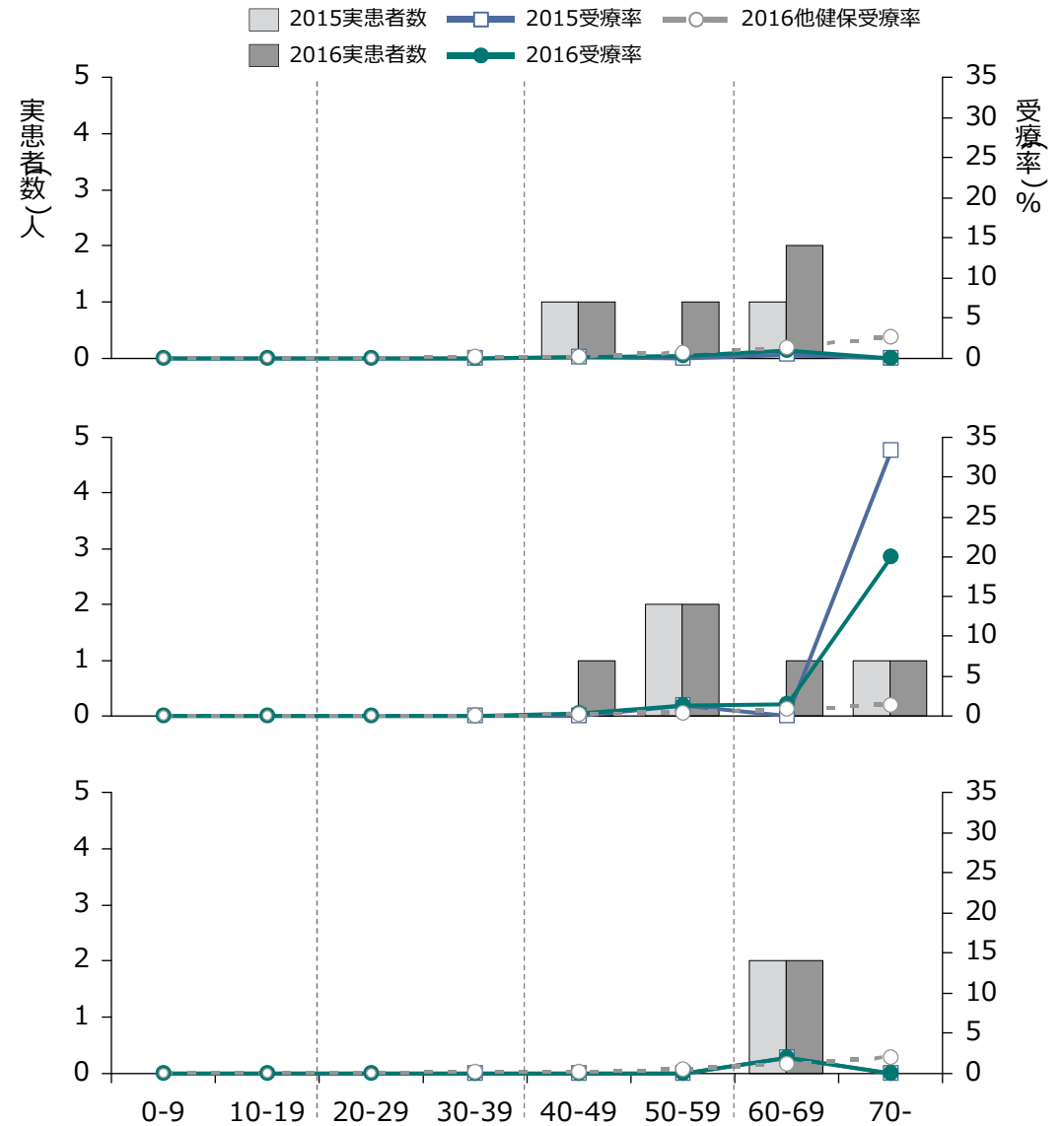
がん分析〈大腸の悪性腫瘍〉

■ ICD10コード：C18-C20
 ■ 疑い傷病：含まない

男性被保険者

女性被保険者

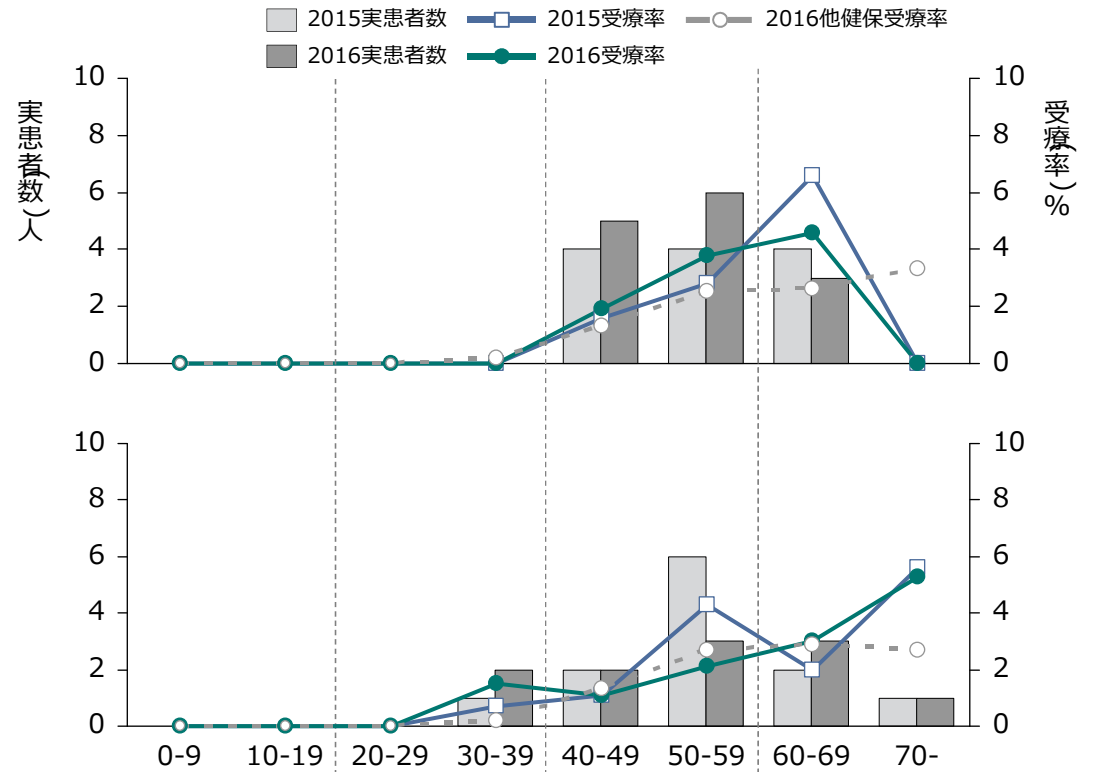
被扶養者



■ ICD10コード：C50
 ■ 疑い傷病：含まない

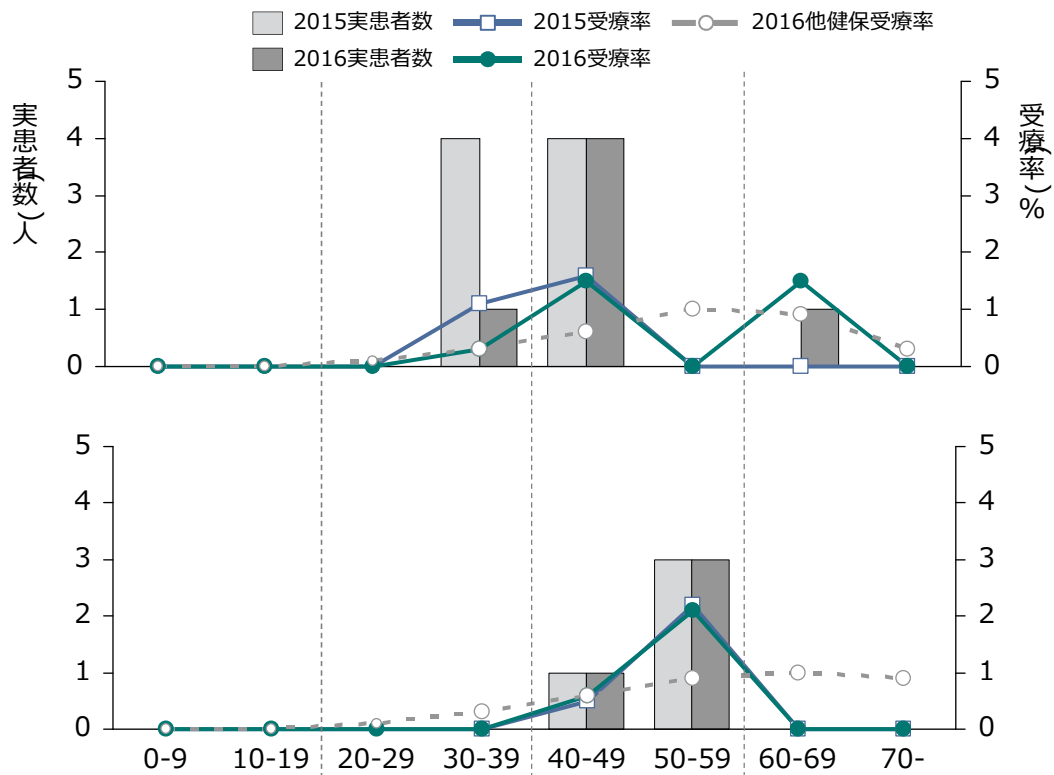
女性被保険者

女性被扶養者



女性被保険者

女性被扶養者

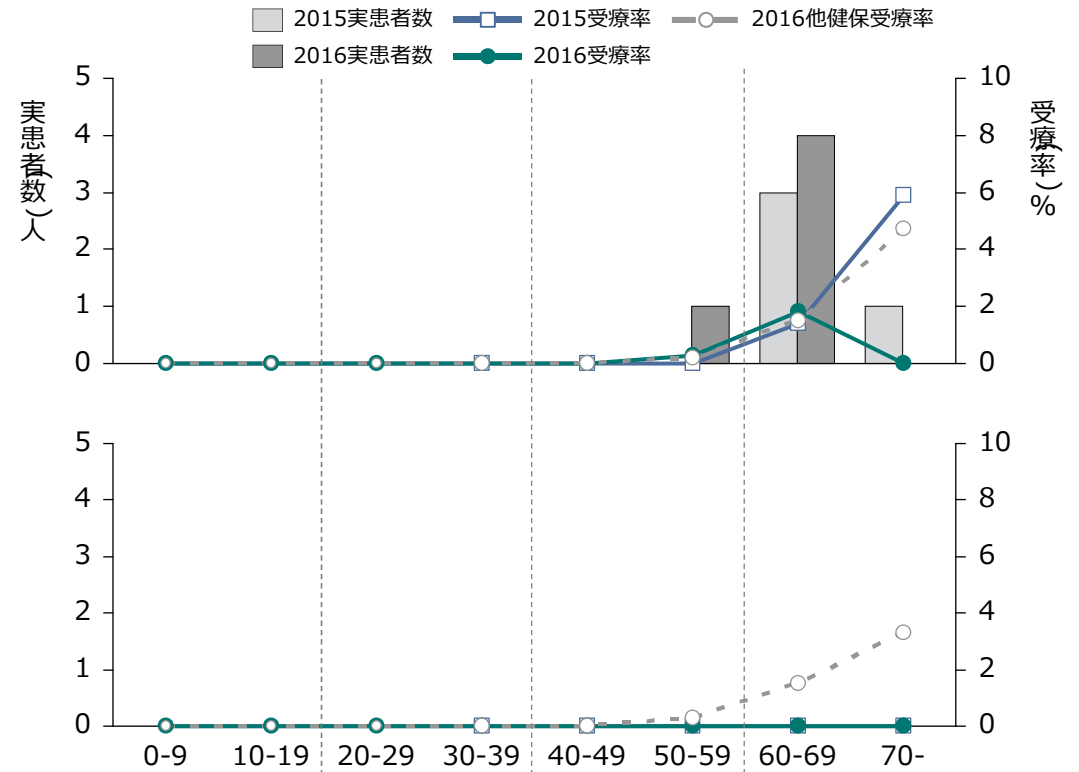


がん分析 〈前立腺の悪性腫瘍〉

■ ICD10コード：C61
 ■ 疑い傷病：含まない

男性被保険者

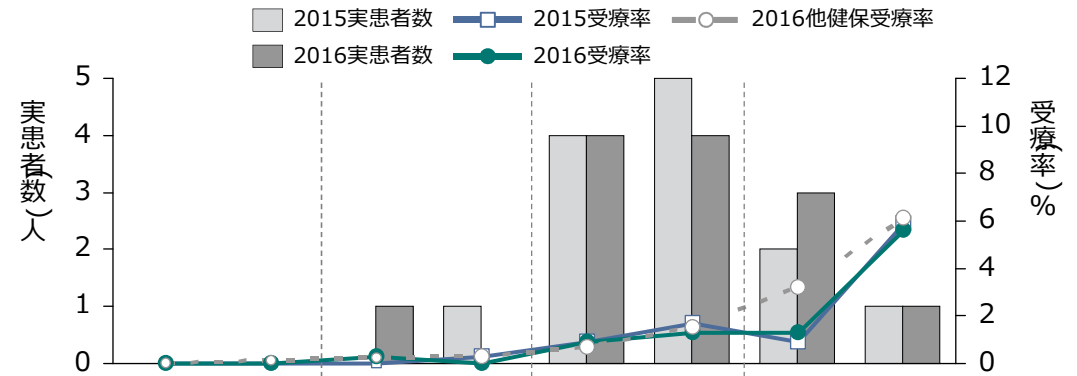
男性被扶養者



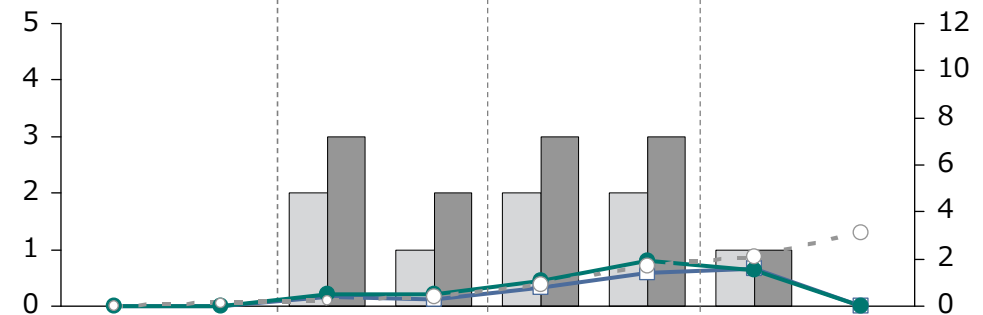
がん分析 〈その他の悪性腫瘍〉

■ ICD10コード：C00-C14/C21-C26/C30-C33/C37-C38/C40-C41/C43-C49/C60/C62-C85/C88/C90-C97
 ■ 疑い傷病：含まない

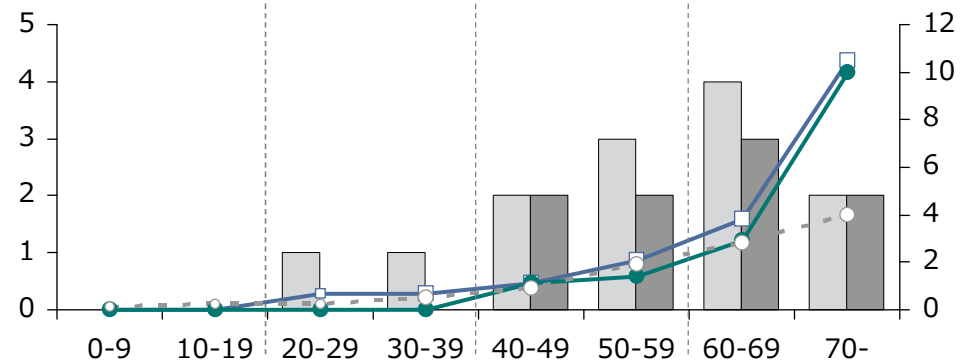
男性被保険者



女性被保険者

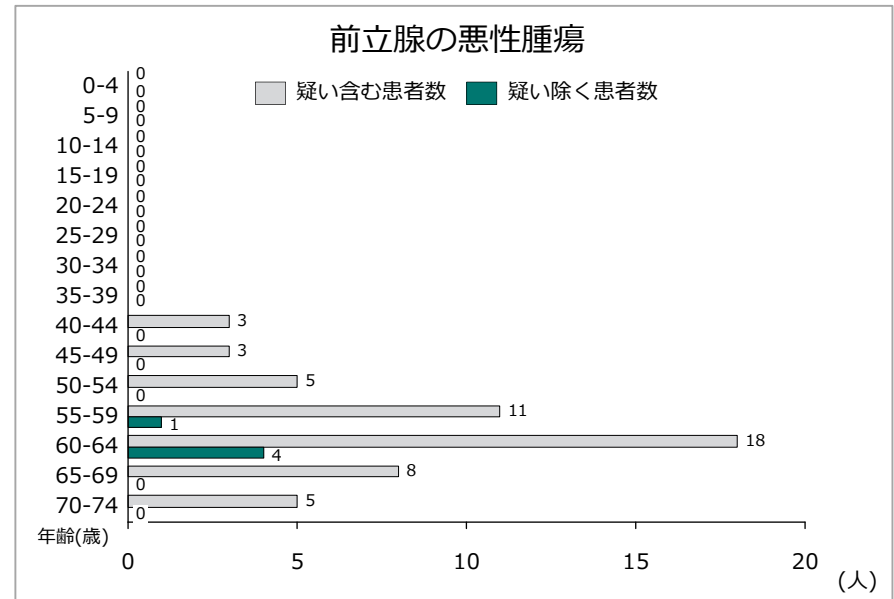
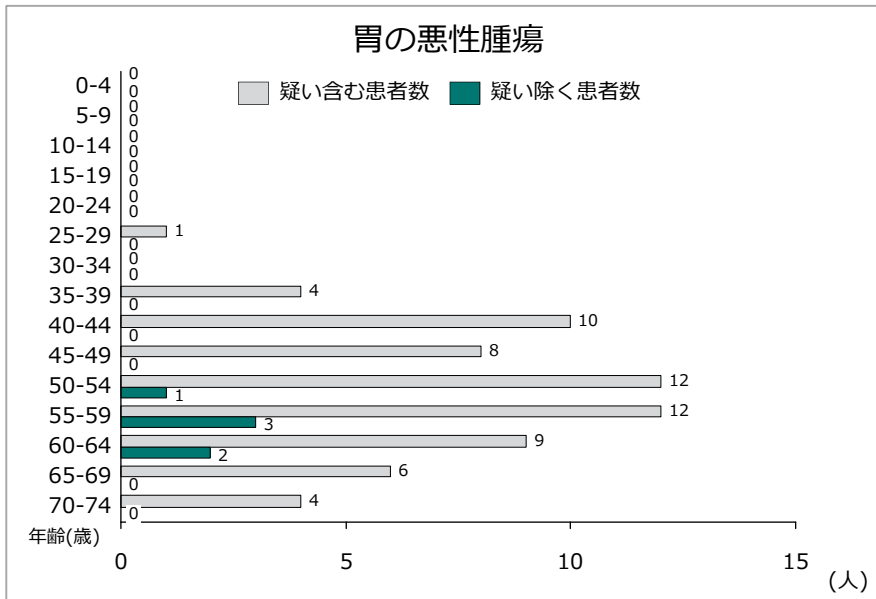
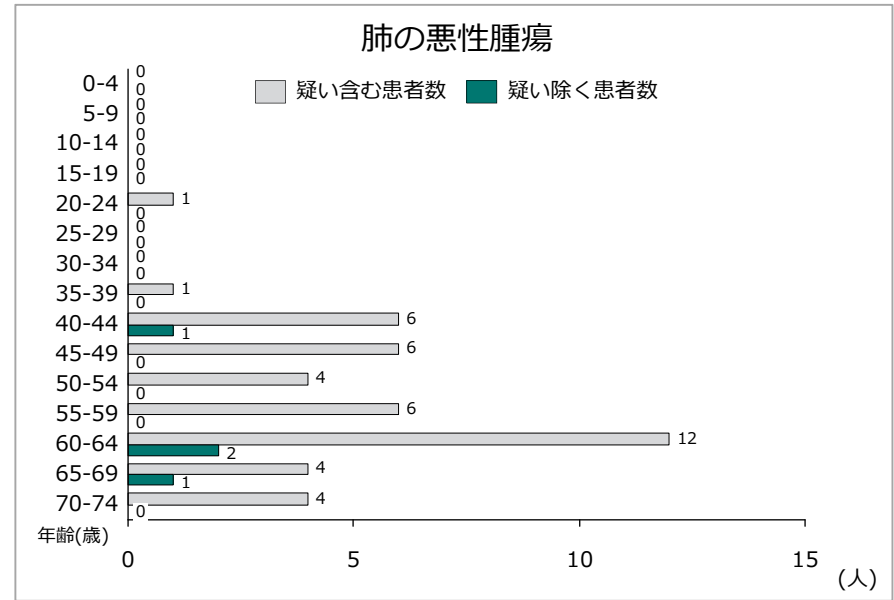
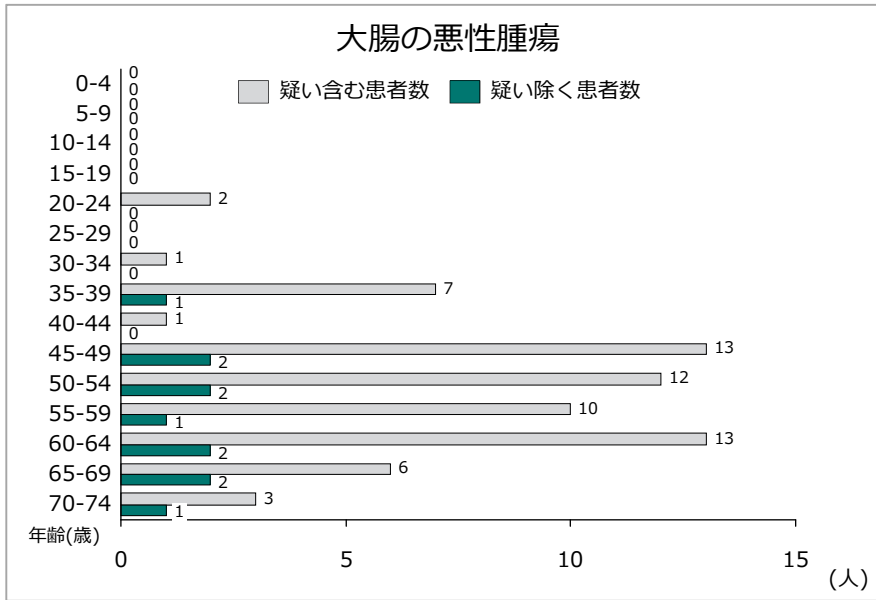


被扶養者



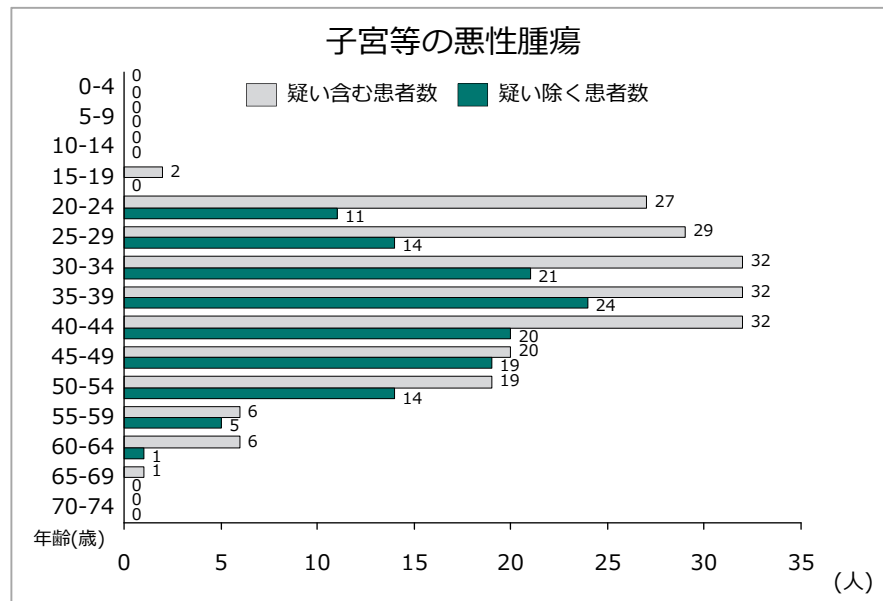
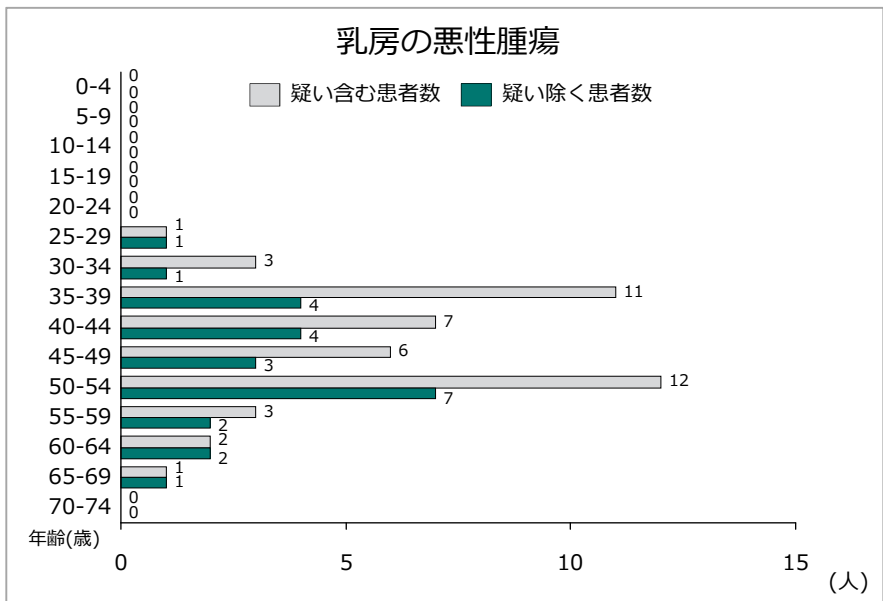
がん分析〈診療開始日年齢分析〉(1/2)

■ ICD10コード：大腸C18-C20 | 肺C34 | 胃C16 | 前立腺C61
 ■ 患者数：該当傷病で初めて診療開始日となった際の年齢で患者数を集計



がん分析〈診療開始日年齢分析〉(1/2)

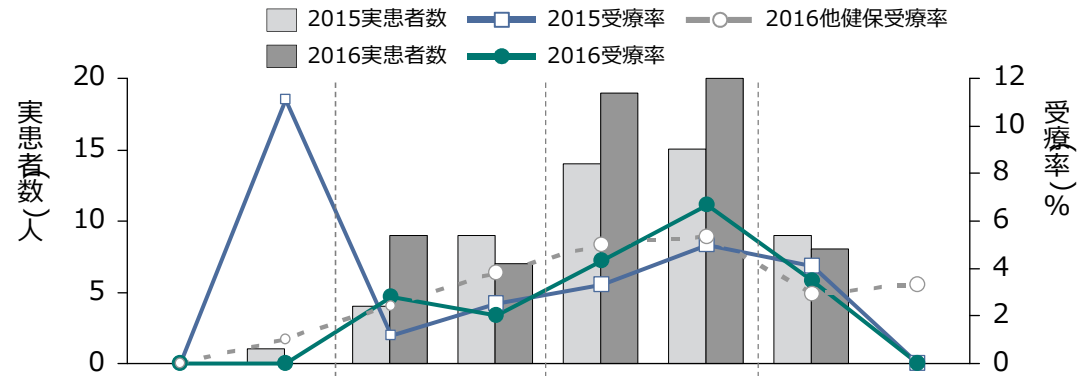
■ ICD10コード： ICD10コード: 乳房C50-C55、D06、D25、D27、D28、D39
 ■ 患者数：該当傷病で初めて診療開始日となった際の年齢で患者数を集計



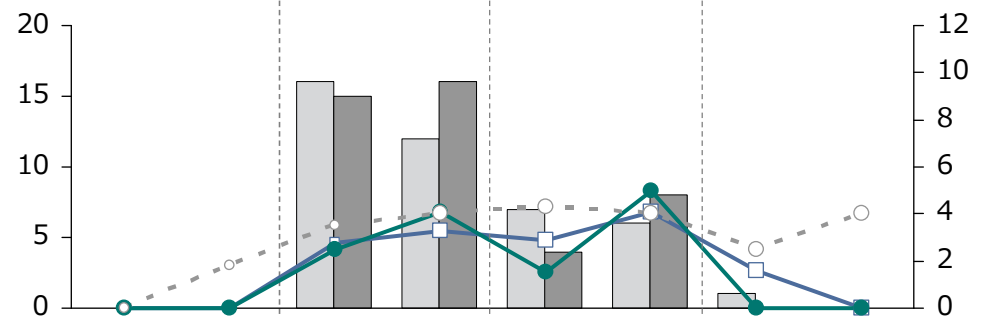
※子宮の悪性腫瘍の他、子宮平滑筋腫や卵巣の良性新生物などを含む

うつ病の患者数は、男性被保険者の40-50代が多い

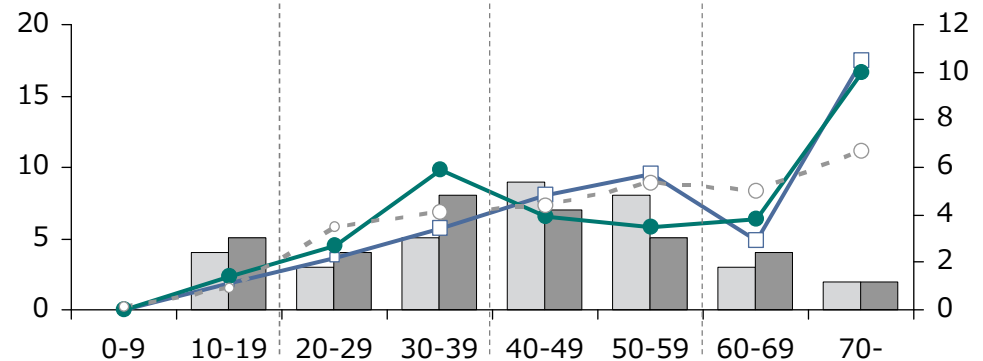
男性被保険者



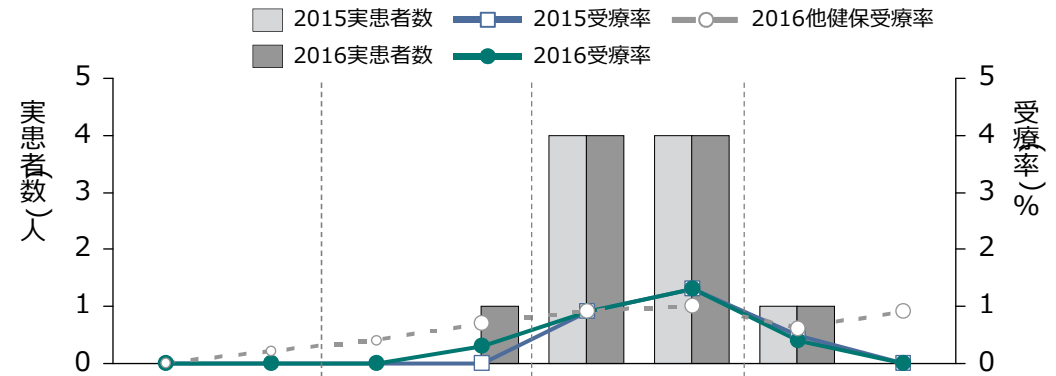
女性被保険者



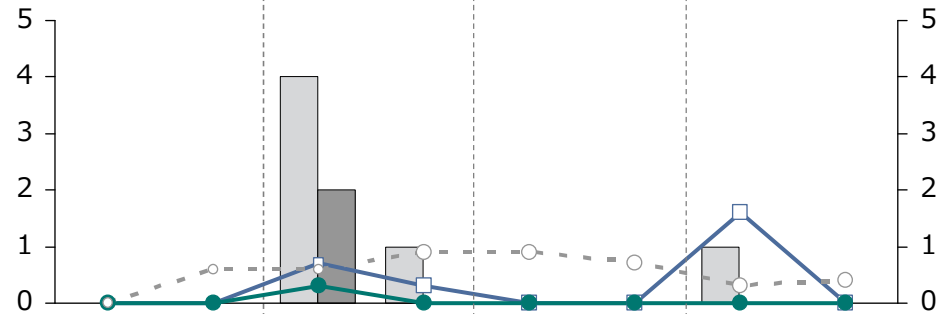
被扶養者



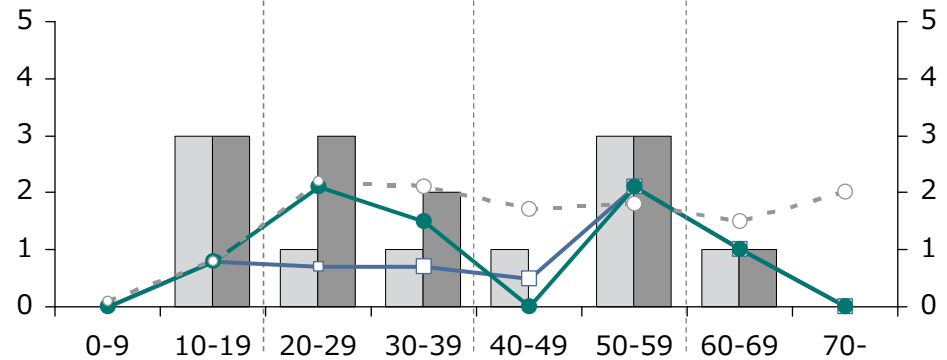
男性被保険者



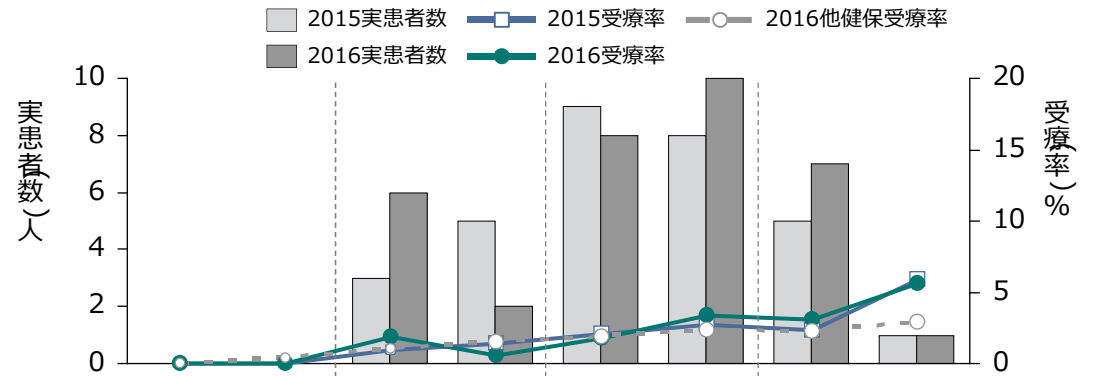
女性被保険者



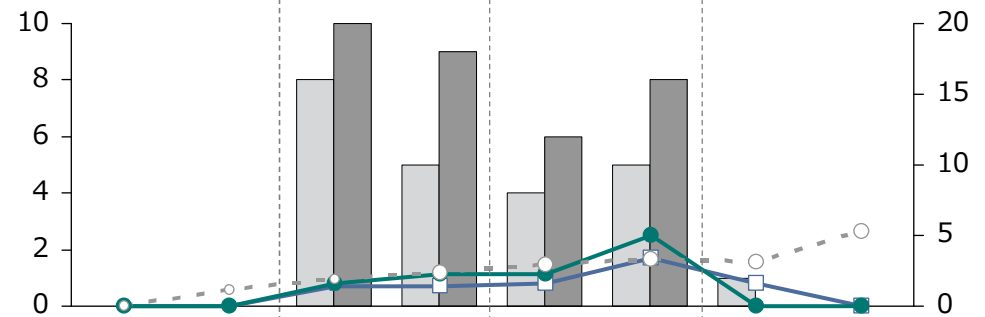
被扶養者



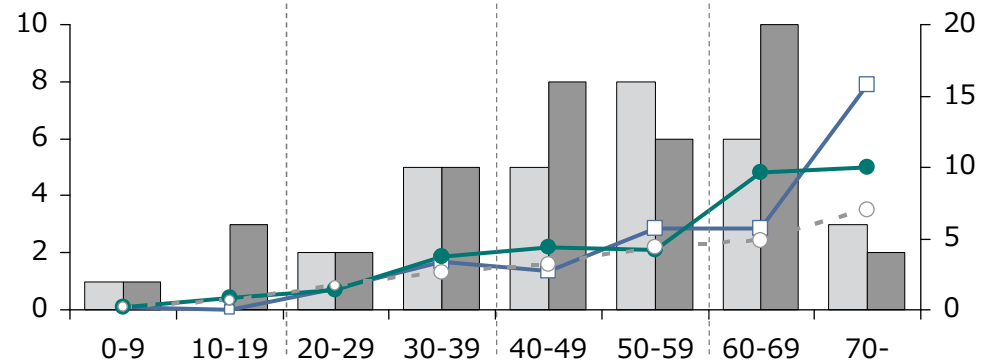
男性被保険者



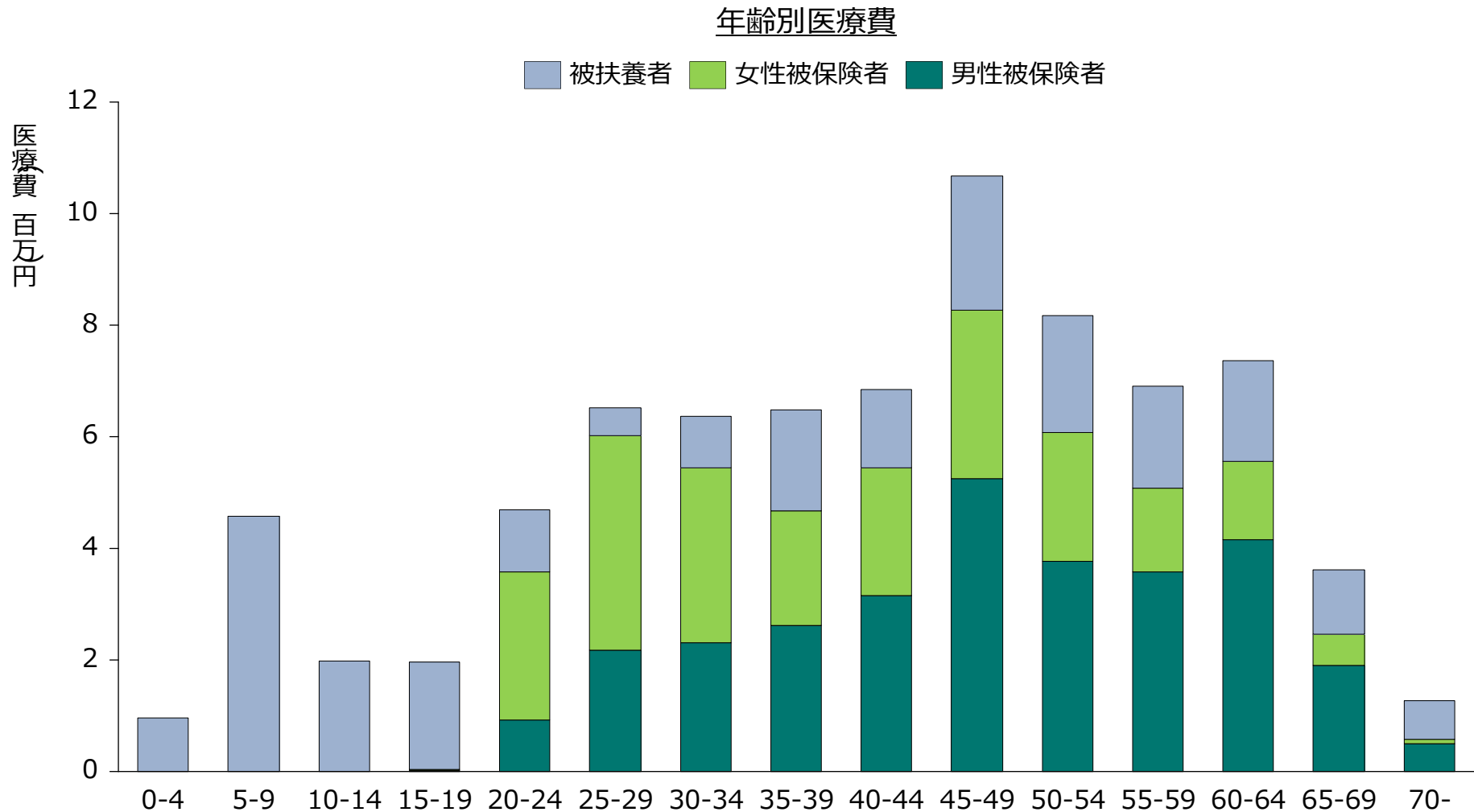
女性被保険者



被扶養者



歯科医療費は、被扶養者5歳-9歳と40代後半の男性被保険者が高い

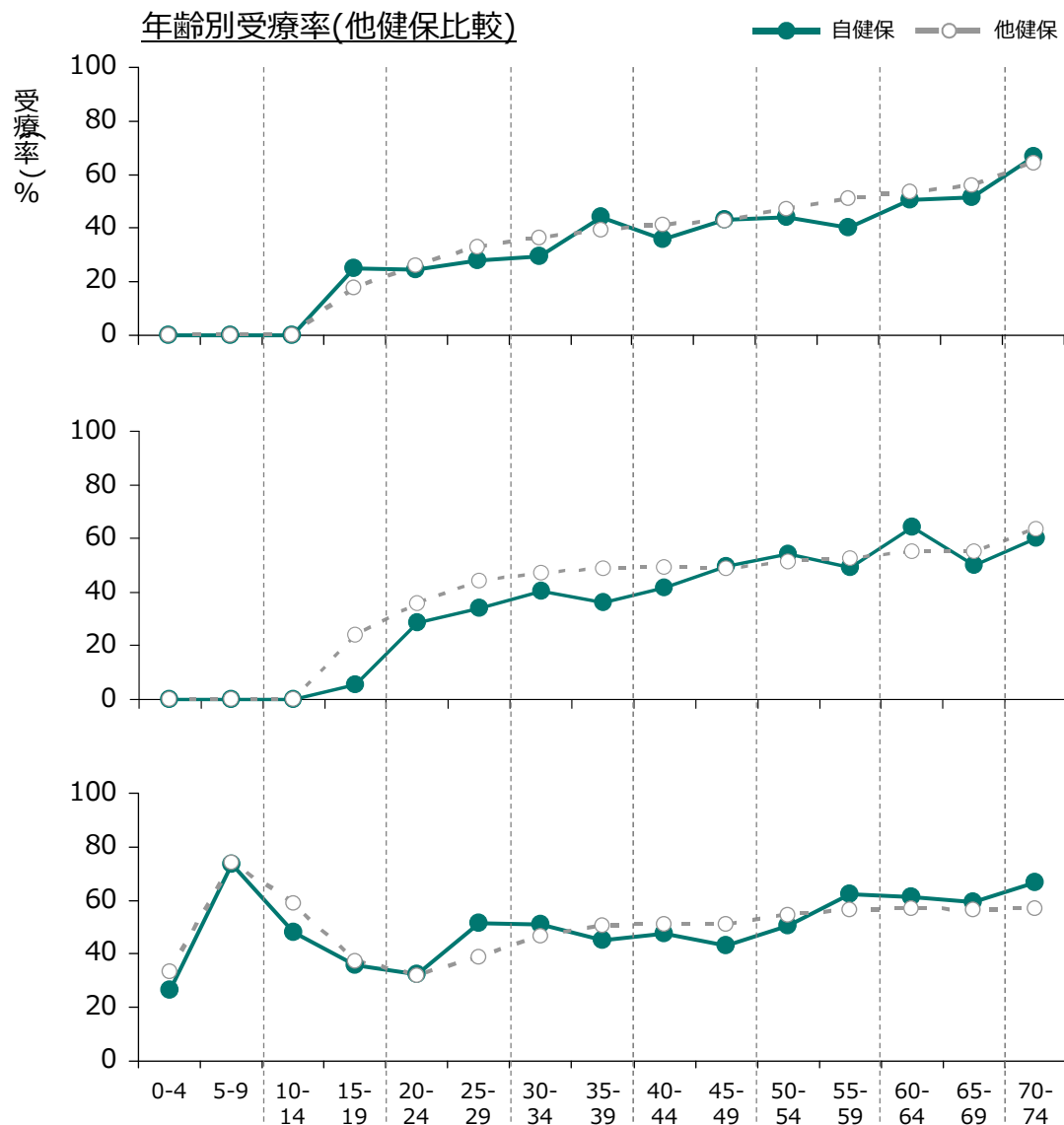


歯科分析 〈2016年度 年齢階層別受療率〉

男性被保険者

女性被保険者

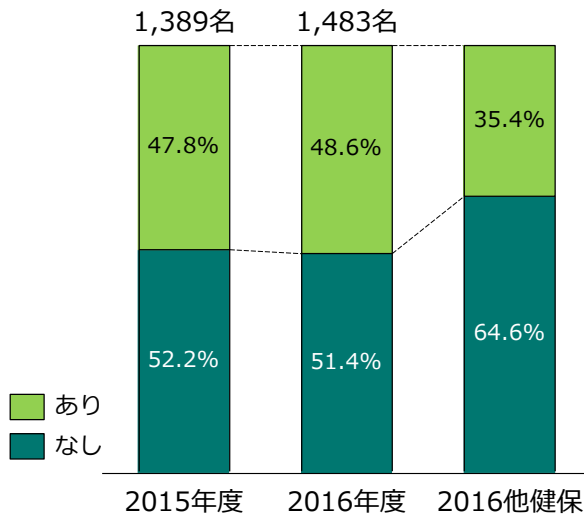
被扶養者



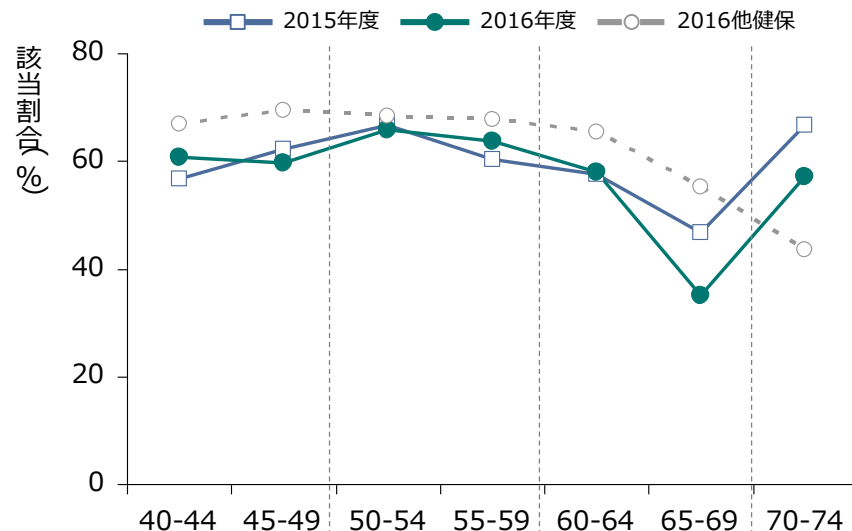
男性被保険者の運動習慣なしの割合は、他健保に比べ13.2ポイント低い

男性被保険者

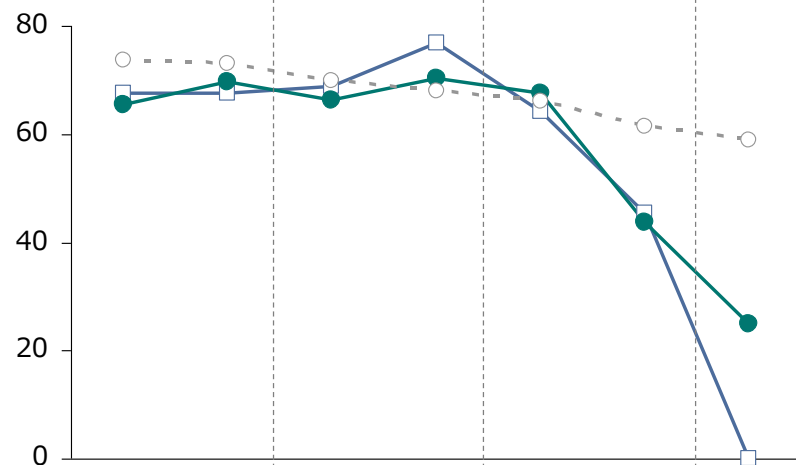
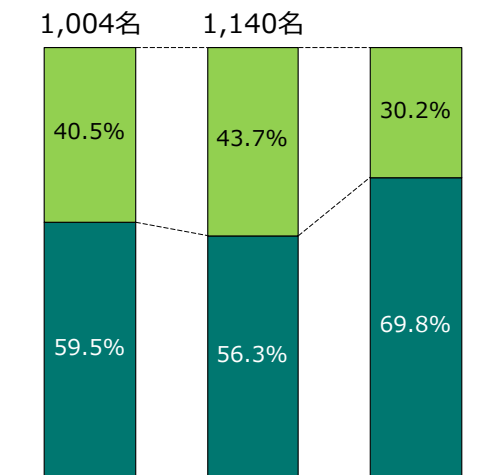
構成比率(他健保比較)



年齢別 運動習慣なし(他健保比較)



女性被保険者



生活習慣病のリスク階層把握により1次予防～3次予防の対象群を特定 2次予防対象の「患者予備群、治療放置群」は324名存在

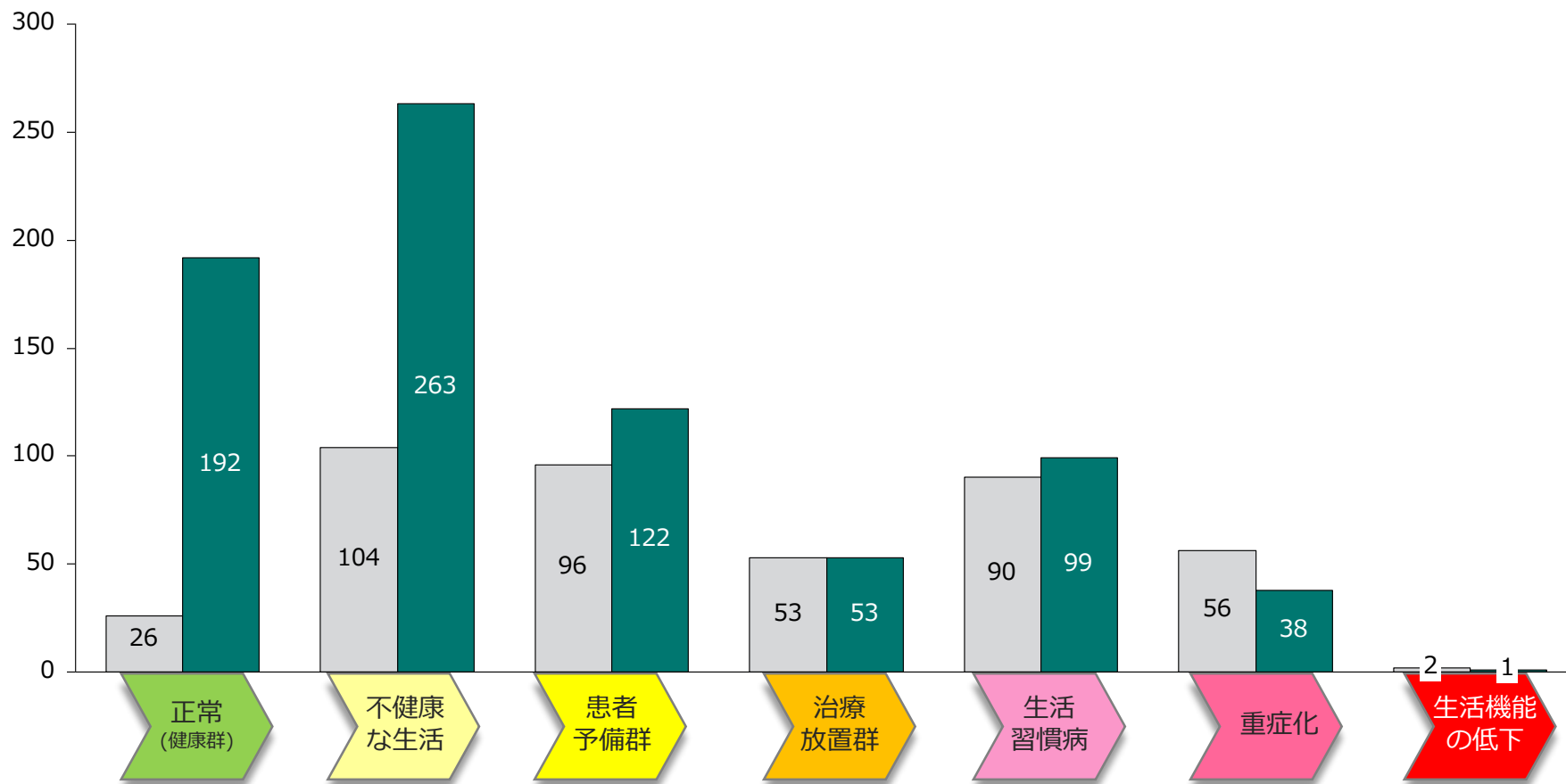


2016年度 上段 [該当者人数] 下段 [構成割合]								
38	218	367	218	106	195	99	6	
3.0%	17.5%	29.4%	17.5%	8.5%	15.6%	7.9%	0.5%	
2015年度 上段 [該当者人数] 下段 [構成割合]								
37	239	322	199	132	188	90	6	
3.1%	19.7%	26.5%	16.4%	10.9%	15.5%	7.4%	0.5%	
2016年度 他健保構成割合								
6.1%	14.5%	23.7%	15.7%	9.4%	22.8%	7.5%	0.3%	

生活習慣病で重症化になっている人は、肥満率が高い
一方で「不健康な生活群、患者予備群」は、非肥満の割合が高い為、
特定保健指導対象から外れている対象者が多い

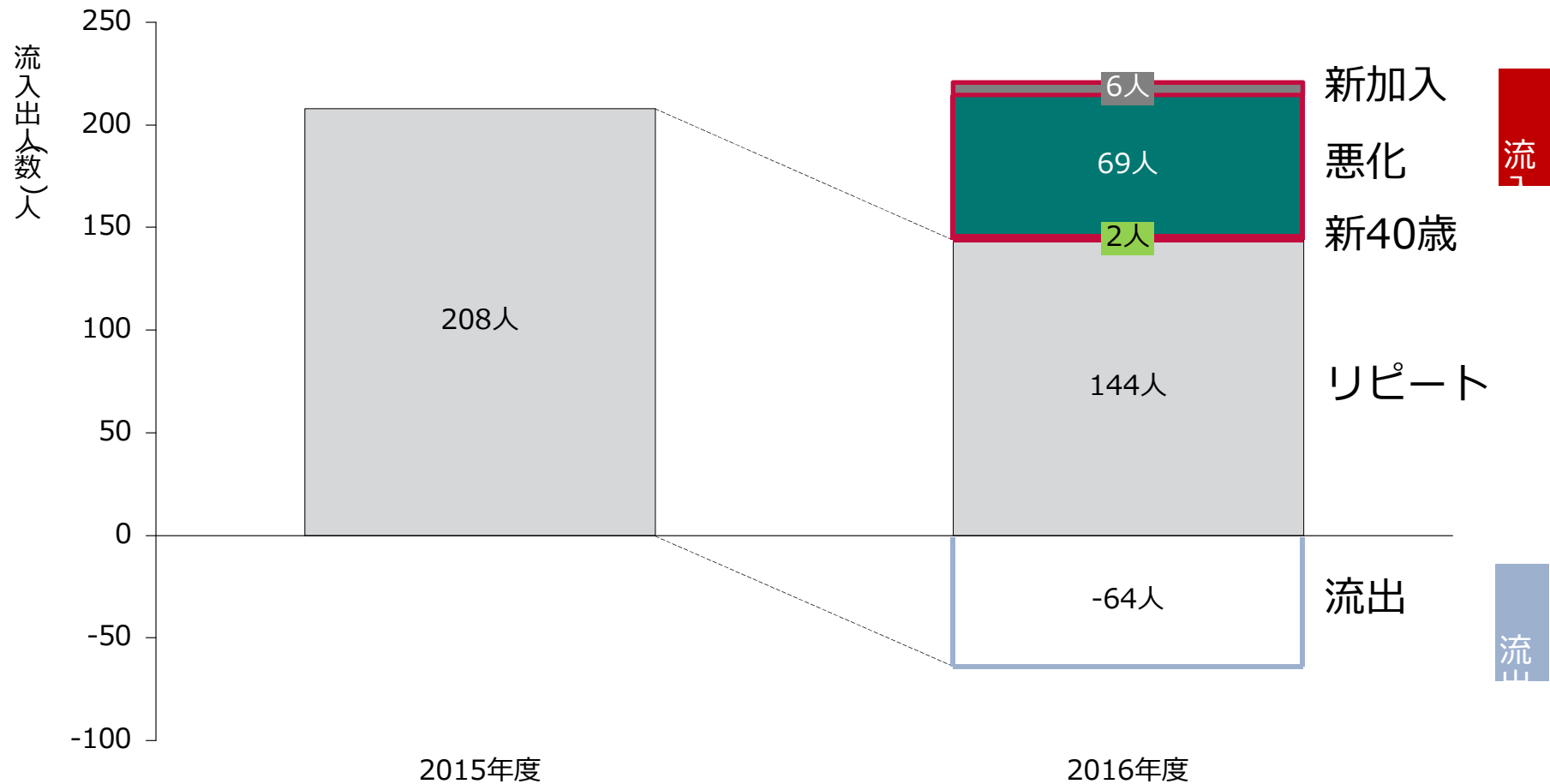
階層別 肥満・非肥満状況

■ 肥満者 (BMI25以上)
■ 非肥満者 (BMI25未満)



2015年度対象者208人から2016年度221人に増えている
 新たに指導対象者となった77人の内、69人(89%)は悪化である

特定保健指導対象者 流入出状況



対象者367人の内、21人が高リスク者である

健診値

(
血糖・
血圧・
脂質
有所見数

リスク層別 治療放置状況分析	低	中	高
	空腹時血糖： 126mg/dl以上又は HbA1c6.5%以上	空腹時血糖： 140mg/dl以上又は HbA1c7.0%以上	空腹時血糖： 150mg/dl以上又は HbA1c8.0%以上
	血圧： 90又は140mmHg以上	血圧： 100又は160mmHg以上	血圧： 110又は180mmHg以上
	中性脂肪： 300mg/dl以上 又はLDL：140以上 又はHDL：35未満	中性脂肪： 400mg/dl以上 又はLDL：160以上 又はHDL：30未満	中性脂肪： 500mg/dl以上 又はLDL：200以上 又はHDL：25未満
1	233	78	14
2	19	14	7
3	0	2	0

G3a以上のリスク者81人の内、46人は未受診者である

CKD重症度分類と分布 ・上段 該当者数 ・下段 未受診者数			尿蛋白			合計
			A1 正常 -,±	A2 尿蛋白 +	A3 尿蛋白 ++	
正常	>90	G1	92 (66)	1 (1)	0 (0)	93 (67)
正常または軽度低下	60~89	G2	737 (559)	15 (8)	4 (1)	756 (568)
軽度~中等度低下	45~59	G3a	69 (44)	3 (0)	3 (0)	75 (44)
中等度~高度低下	30~44	G3b	3 (2)	0 (0)	0 (0)	3 (2)
高度低下	15~29	G4	1 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (0)
末期腎不全	<15	G5	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)
		合計	902 (671)	19 (9)	9 (1)	930 (681)

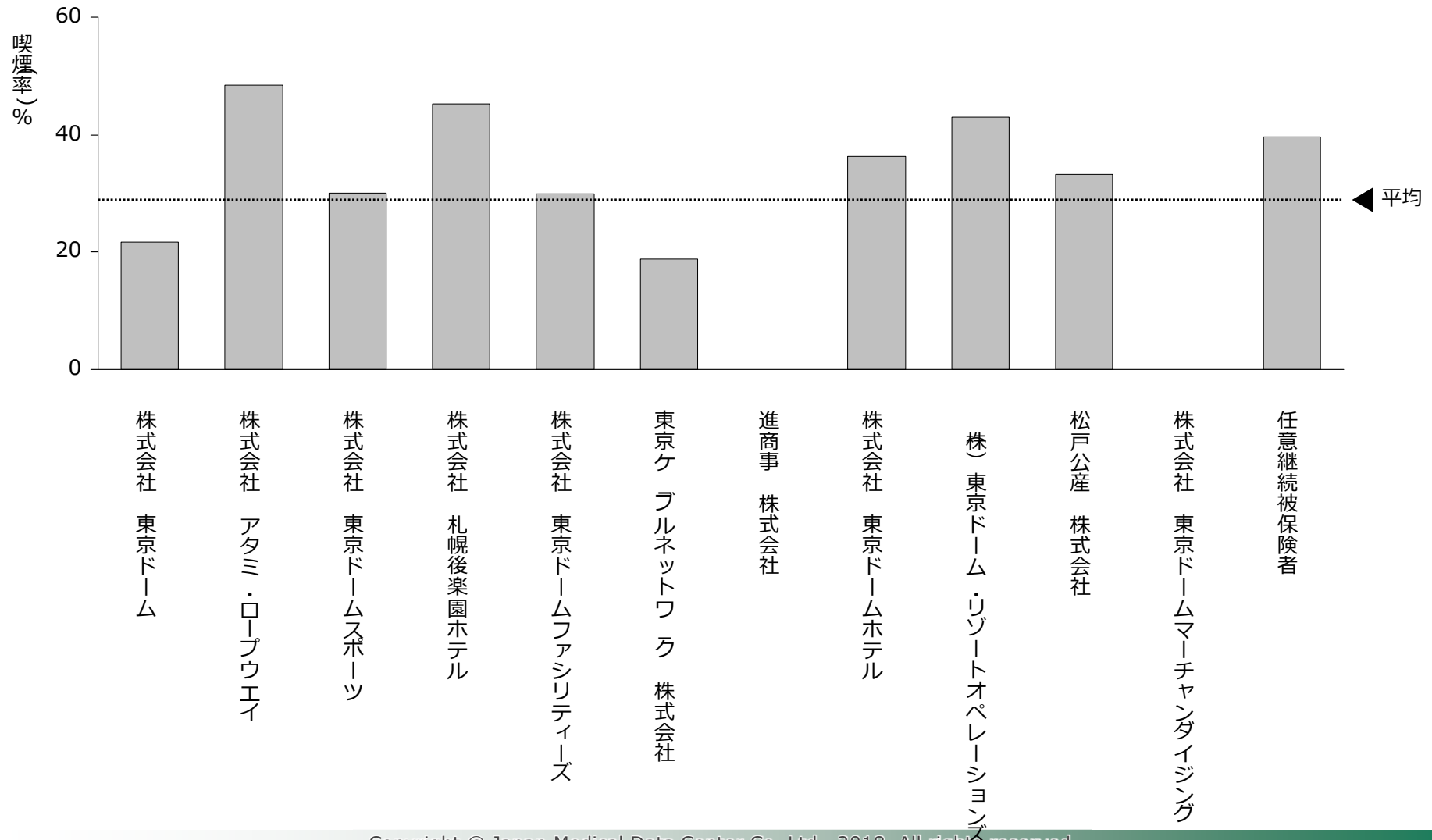
e
G
F
R

治療中断者30人の内、12人は健診値もアンコントロールである

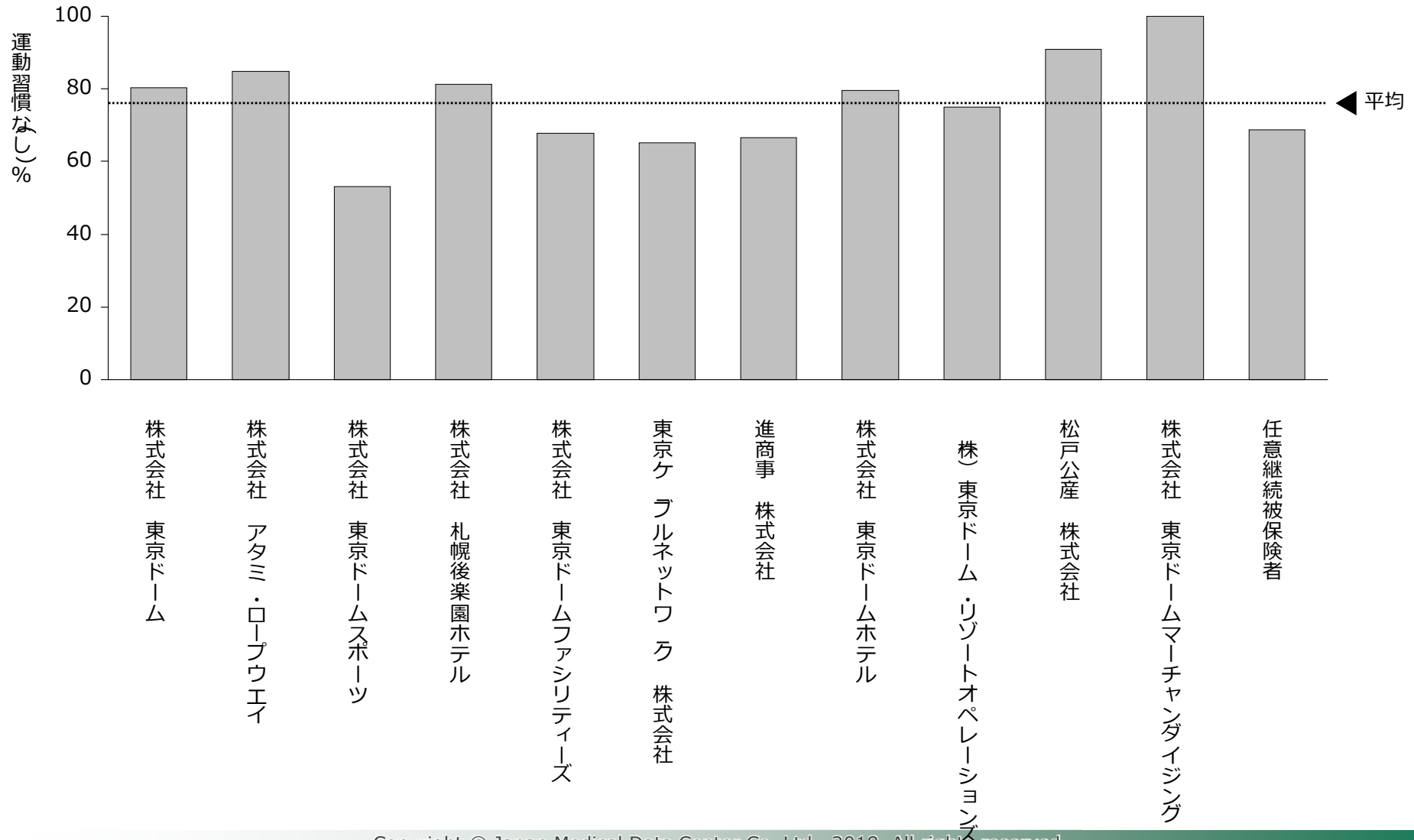
対象者	追跡データ 生活習慣病レセプトor服薬情報 ※疑い含まず	健診結果	人数
当年度 血圧・血糖・脂質 服薬処方あり	中断 30 ※当年度1～3月に 生活習慣病での 通院実績なし	アンコントロール	12
		コントロール	14
		健診なし	4
	通院 128 ※生活習慣病での 通院実績あり	アンコントロール	72
		コントロール	46
		健診なし	10

- アンコントロール：下記いずれかに該当
 - ・血糖：空腹時126以上 or HbA1c6.5以上
 - ・血圧：90以上 or 140以上
 - ・脂質：中性脂肪：300以上 or LDL：140以上 or HDL：35未満
- コントロール：上記値に非該当
- 健診なし：健診データなし(未受診)

事業所別 喫煙率



事業所別 運動習慣なし率

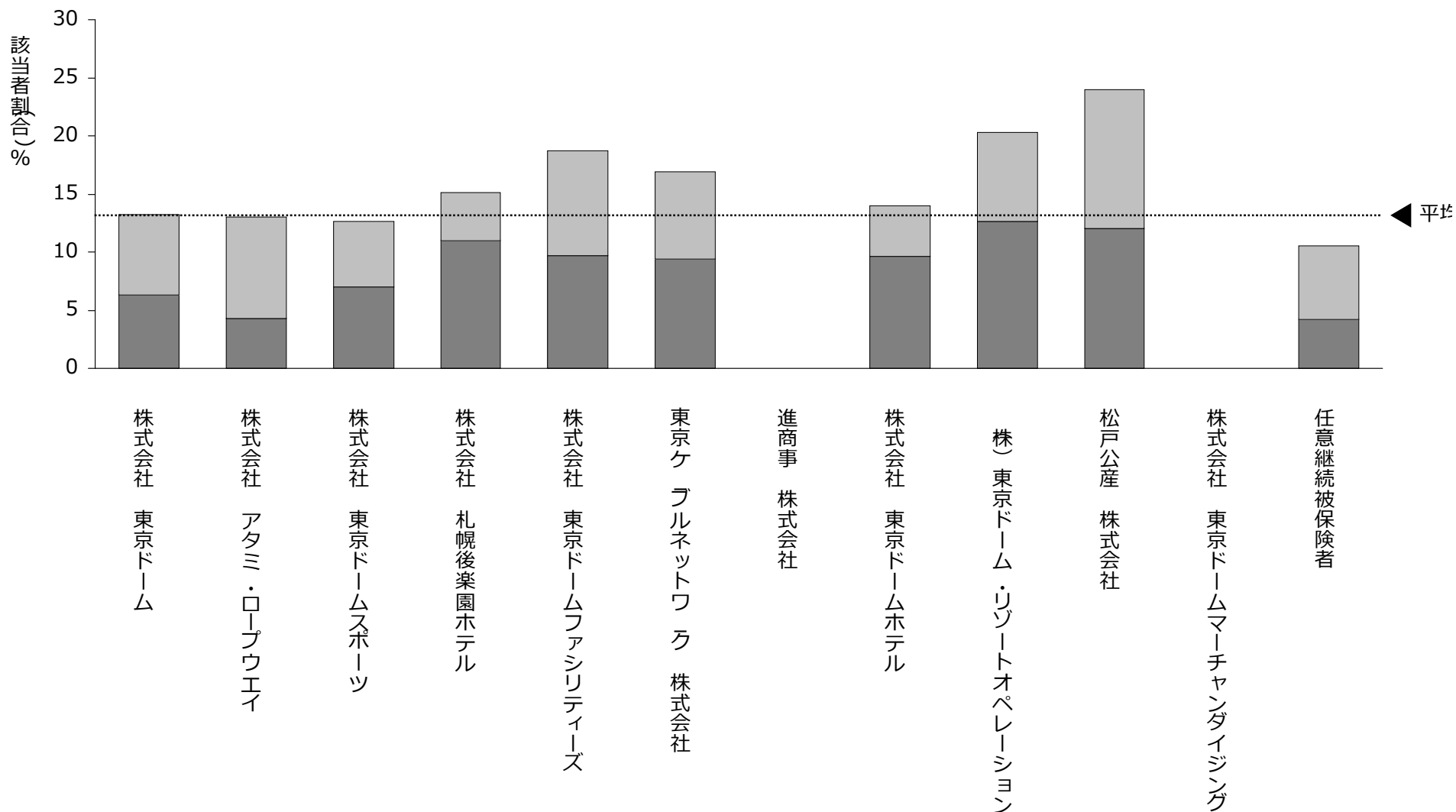


事業所分析 〈特定保健指導対象者割合〉

■対象者：被保険者(期間中1回でも在籍した人)
 ■特定保健指導対象者：積極的支援、動機づけ支援

事業所別 特定保健指導対象者割合

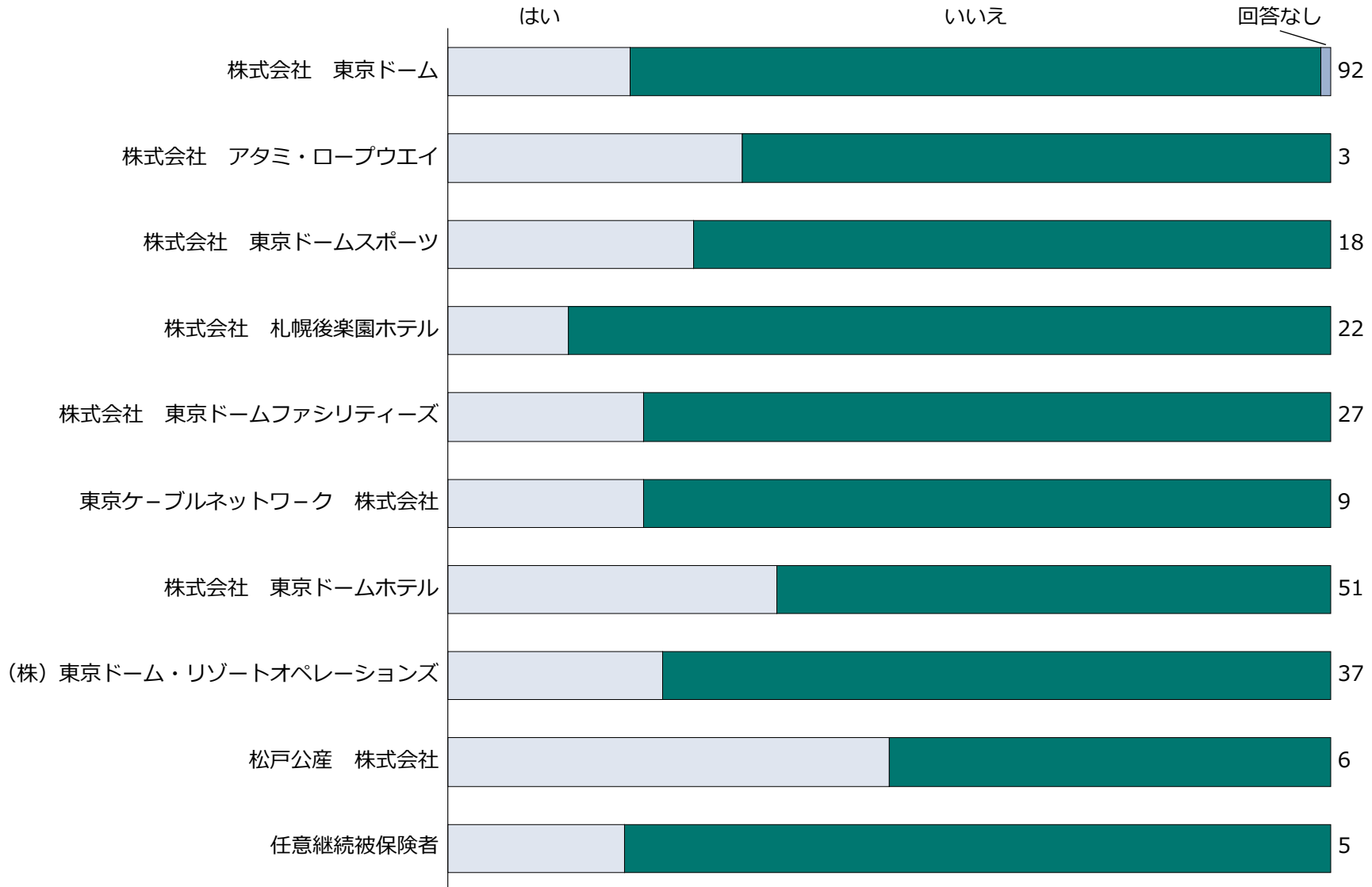
■ 動機付け支援 ■ 積極的支援



事業所分析 〈特定保健指導対象者と指導参加意欲〉

【定義】

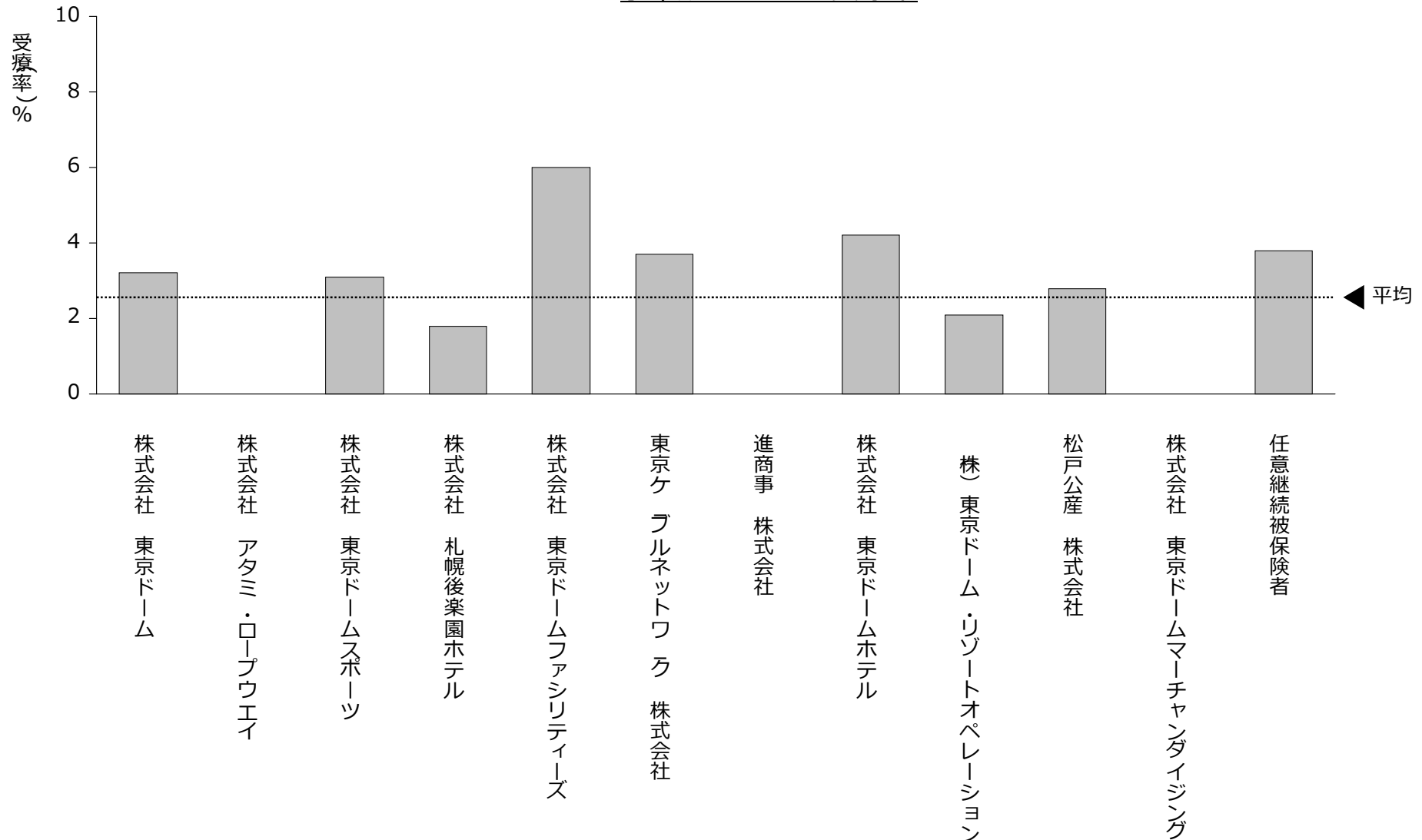
- 対象者：被保険者
- 特定保健指導対象者：積極的支援、動機付け支援
- 指導参加意欲：生活習慣の改善について保健指導を受ける機会があれば利用しますか。



事業所分析 〈うつ病受療率〉

- 対象者：被保険者
- ICD10コード：F30-F39
- 疑い傷病：含まず

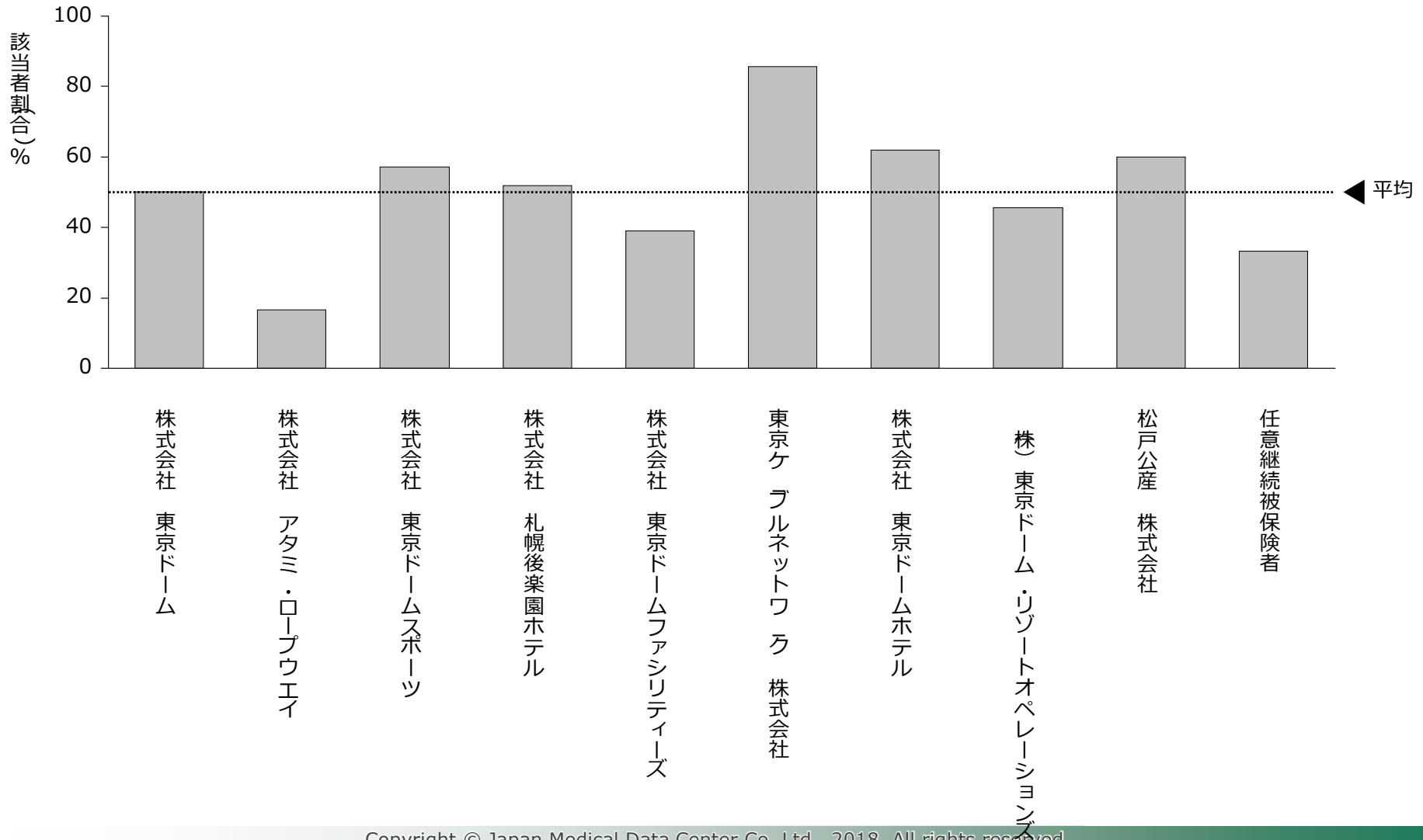
事業所別 うつ病受療率



事業所分析 〈治療放置者割合〉

- 対象者：被保険者
- 治療放置：以下に該当し、生活習慣病での通院実績無し
 血糖：空腹時140以上 or HbA1c7.0以上
 血圧：100以上 or 160以上
 脂質：中性脂肪：400以上 or LDL：160以上 or HDL：30未満
- 疑い傷病：含む

事業所別 治療放置者割合




STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき 課題
1	ウ	<ul style="list-style-type: none"> 健保全体の特定健診受診率は79.8%で、目標値90%に対して、-10.2% 2016年度受診率の内訳 被保険者：95.1% 被扶養者：28.4% 	➔	被扶養者の受診率を約45ポイント引き上げることで目標達成となる。 健診受診率向上の為、未受診者への健診受診を促す（被扶養者へ注力）	✓
2	サ	特定保健指導の対象者数が増加している 2015年度：208人 2016年度：221人（前年比+13人）	➔	生活習慣病リスク保有者の生活習慣、 健康状態の改善の為に特定保健指導を実施	
3	イ	2017年3月の数量割合は64.7%で、他健保と比べ2.7ポイント低い	➔	後発医薬品に切替余地がある対象者へ 切替を促す	
4	シ	健診とレセプトを突合した治療放置群分析により、健診結果が 悪いにも関わらず通院をしていない対象者が367人いることがわかった。 また、CKDステージマップにより、CKDリスクG3a以上の対象者81人のうち 、46人が未受診者であることがわかった	➔	未通院者に対して、早期に医療を受けてもらうよう受診を促す	
5	カ	悪性腫瘍罹患者の診療開始年齢を分析した結果若年層からがん患者が上昇傾 向にあることが分かった。 また、がんの疾病別構成比は増加しており、その他を除くがん種別では乳が んの医療費が最も高い	➔	がん等の早期発見・早期治療を目標とするがん検診等の実施	
6	コ	加入者の健康状態は様々に分布しており、 中でも「不健康な生活群」：17.6% 「患者予備群」：14.6% 「治療放置群」：12.8% 4割程度を占めていることがわかった また、上記階層の対象者の半数以上は非肥満であることがわかり、特定保健 指導対象からも漏れていることがわかった。	➔	ヘルスリテラシー向上の為にICTツールを導入	
7	ケ	問診分析より「運動習慣なし」の該当者割合 男性被保険者：76.4% 女性被保険者：81.9%	➔	運動習慣がない人に、運動の機会を提供	

基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	<ul style="list-style-type: none"> 健保には医療職スタッフが不在で、事業主と委託先の協力が不可欠 健診受診後のきめ細やかなフォローが難しい 健康リテラシーが低く、50代の肥満率や喫煙率（特に女性）が平均より高い 	➔	<ul style="list-style-type: none"> 被保険者へのアプローチは健康保険組合から直接行うのは非効率的であり、事業主との協働（コラボヘルス）が必要である。 年齢を重ねると生活習慣改善などの予防効果は期待が少なくなることから、現役世代の若年者から対策を行うことを重視する

保健事業の実施状況

No.	特徴	対策検討時に留意すべき点
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健保から配布、発信するという一方通行の情報提供事業が多く、健康への無関心層への注意喚起が重要 ・ 参加型の保健事業が多く、参加率の向上や内容の工夫 ・ 被保険者へのアプローチがメインになっている 	 <ul style="list-style-type: none"> ・ 発信内容の工夫および被保険者（社員）から家庭内への情報伝達手段の工夫 ・ 事業主とのコラボを強化し、加入者の健康意識を高めて、自発的参加率を向上 ・ 習慣改善は家族の協力も不可欠であり、被扶養者向けのアプローチも重要 ・ 被扶養者への積極的な健診受診の伝達、情報提供の工夫

STEP 3 保健事業の実施計画

事業全体の目的
保険料率の割合減を目指す

事業全体の目標
保険給付費の削減
前期高齢者納付金の削減

事業の一覧

職場環境の整備	
加入者への意識づけ	
その他	ICTによる情報発信
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健診（被保険者）
特定健康診査事業	特定健診（被扶養者）
特定保健指導事業	特定保健指導
疾病予防	人間ドック
疾病予防	婦人健康診断
疾病予防	郵送がん検診（大腸がん）
疾病予防	郵送がん検診（子宮がん）
疾病予防	常備薬の配付
疾病予防	インフルエンザ予防接種補助
疾病予防	生活習慣病受診勧奨通知
疾病予防	慢性腎臓病受診勧奨通知
体育奨励	遠隔地体育行事補助
体育奨励	ウォーキングラリー
その他	ジェネリック差額通知

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	注2) 事業名	対象者				注3) 実施主体	注4) プロセス分類	実施方法	注5) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)	実施計画	事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者									
アウトプット指標										アウトカム指標						
職場環境の整備																
加入者への意識づけ																
その他	2	既存	ICTによる情報発信	全て	男女	18～74	被保険者	1	ア,エ,シ		ア,サ		-継続		ヘルスリテラシーの向上	加入者の健康状態は様々な分布しており、中でも「不健康な生活群」：17.6% 「患者予備群」：14.6% 「治療放置群」：12.8% 4割程度を占めていることがわかった また、上記階層の対象者の半数以上は非肥満であることがわかり、特定保健指導対象からも漏れていることがわかった。
	対象者への登録通知送付率(【実績値】 - 【目標値】 令和3年度：100%)-										ICT登録率(【実績値】 - 【目標値】 令和3年度：50%)-					
個別の事業																
特定健康診査事業	3	既存(法定)	特定健診(被保険者)	全て	男女	40～74	被保険者	3	コ		ア,キ		-継続		健康状態の可視化	・健保全体の特定健診受診率は79.8%で、目標値90%に対して、-10.2% ・2016年度受診率の内訳 被保険者：95.1% 被扶養者：28.4%
	事業主または健診機関への情報提供を呼び掛ける(【実績値】100% 【目標値】 令和3年度：100%)事業主または健診機関に対し、健診結果の情報提供を求める										健診受診率(【実績値】90% 【目標値】 令和3年度：95%)特定健診受診率90%(被保険者：95%)					
特定保健指導事業	3	既存(法定)	特定健診(被扶養者)	全て	男女	40～74	被扶養者	1	ウ		キ		-継続		健康状態の可視化	・健保全体の特定健診受診率は79.8%で、目標値90%に対して、-10.2% ・2016年度受診率の内訳 被保険者：95.1% 被扶養者：28.4%
	対象者への案内率(【実績値】100% 【目標値】 令和3年度：100%)郵送物、もしくはHPでの健診受診の周知										健診受診率(【実績値】75% 【目標値】 令和3年度：60%)特定健診受診率90%(被扶養者：75%)					
特定保健指導事業	4	既存(法定)	特定保健指導	全て	男女	40～74	被保険者,被扶養者	1	オ,ク,ケ		ア		-継続		メタボリックシンドローム減少を目標に、保健指導を実施。	特定保健指導の対象者数が増加している 2015年度：208人 2016年度：221人(前年比+13人)
	指導実施の案内率(【実績値】100% 【目標値】 令和3年度：100%)-										特定保健指導実施率(【実績値】50% 【目標値】 令和3年度：40%)-					
疾病予防	3	既存	人間ドック	全て	男女	30～74	被保険者,被扶養者	1	ウ		ス		-継続		がん等の早期発見・早期治療	悪性腫瘍罹患者の診察開始年齢を分析した結果若年層からがん患者が上昇傾向にあることが分かった。 また、がんの疾病別構成比は増加しており、その他を除くがん種別では乳がんの医療費が最も高い
	対象者への周知率(【実績値】100% 【目標値】 令和3年度：100%)-										特定健診を兼ねる為、特定健診受診率で評価とする(アウトカムは設定されていません)					
	3	既存	婦人健康診断	全て	女性	30～74	被保険者,任意継続者	1	ウ		サ,ス		-継続		がん等の早期発見・早期治療	悪性腫瘍罹患者の診察開始年齢を分析した結果若年層からがん患者が上昇傾向にあることが分かった。 また、がんの疾病別構成比は増加しており、その他を除くがん種別では乳がんの医療費が最も高い
	対象者への周知率(【実績値】100% 【目標値】 令和3年度：100%)-										特定健診と兼ねている為、特定健診受診率で評価とする(アウトカムは設定されていません)					
	3	既	郵送がん検診(大腸がん)	全て	男女	30～74	被保険者	1	ウ		サ,ス		-継続		がんの早期発見・早期治療	悪性腫瘍罹患者の診察開始年齢を分析した結果若年層からがん患者が上昇傾向にあることが分かった。 また、がんの疾病別構成比は増加しており、その他を除くがん種別では乳がんの医療費が最も高い
対象者への周知率(【実績値】100% 【目標値】 令和3年度：100%)-										利用人数(【実績値】50人 【目標値】 令和3年度：50人)-						
疾病予防	3	既	郵送がん検診(子宮がん)	全て	女性	30～74	被保険者	1	ウ		サ,ス		-継続		がんの早期発見・早期治療	悪性腫瘍罹患者の診察開始年齢を分析した結果若年層からがん患者が上昇傾向にあることが分かった。 また、がんの疾病別構成比は増加しており、その他を除くがん種別では乳がんの医療費が最も高い
	対象者への周知率(【実績値】100% 【目標値】 令和3年度：100%)-										利用人数(【実績値】50人 【目標値】 令和3年度：50人)-					

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	注2) 事業名	対象者				注3) 実施主体	注4) プロセス分類	実施方法	注5) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)	実施計画	事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者									
アウトプット指標												アウトカム指標				
8	既存	常備業の配付	全て	男女	18～74	被保険者	1	ス		サ			-継続	加入者の健康維持増進と健保組合の医療費削減	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）	
加入者への周知率(【実績値】100% 【目標値】令和3年度：100%)-												(アウトカムは設定されていません)				
3	既存	インフルエンザ予防接種補助	全て	男女	18～74	被保険者,任意継続者	1	ケ		サ			-継続	インフルエンザの重症化予防	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）	
対象者への周知率(【実績値】100% 【目標値】令和3年度：100%)-												予防接種利用人数(【実績値】1,339人 【目標値】令和3年度：1,500人)-				
4	既存	生活習慣病受診勧奨通知	全て	男女	18～74	加入者全員	1	イ,キ,ク		サ			-継続	生活習慣病の重症化予防	健診とレセプトを突合した治療放置群分析により、健診結果が悪いにも関わらず通院をしていない対象者が367人いることがわかった。また、CKDステージマップにより、CKDリスクG3a以上の対象者81人のうち、46人が未受診者であることがわかった	
送付率(【実績値】100% 【目標値】令和3年度：100%)対象者への送付												医療機関受診率(【実績値】1.9% 【目標値】令和3年度：15%)-				
4	新規	慢性腎臓病受診勧奨通知	全て	男女	0～74	被保険者,被扶養者	1	イ,ク		イ,サ			継続 今年度実施しない理由：予算未策定の為	慢性腎臓病リスク者に対するの早期受診	健診とレセプトを突合した治療放置群分析により、健診結果が悪いにも関わらず通院をしていない対象者が367人いることがわかった。また、CKDステージマップにより、CKDリスクG3a以上の対象者81人のうち、46人が未受診者であることがわかった	
通知送付率(【実績値】 - 【目標値】令和3年度：100%)-												通知者の医療機関受診率(【実績値】 - 【目標値】令和3年度：15%)-				
8	既存	遠隔地体育行事補助	全て	男女	18～74	被保険者	1	ケ		サ			-継続	健康増進・維持のため	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）	
対象者への周知率(【実績値】100% 【目標値】令和3年度：100%)-												(アウトカムは設定されていません)				
5	新規	ウォーキングラリー	全て	男女	18～74	被保険者	1	ア,ケ		サ			-継続	ウォーキングラリーによる健康増進	問診分析より「運動習慣なし」の該当者割合 男性被保険者：76.4% 女性被保険者：81.9%	
対象者への周知率(【実績値】 - 【目標値】令和3年度：100%)-												参加人数(【実績値】 - 【目標値】令和3年度：450人)登録者のうち、ウォーキングラリー参加人数				
7	既存	ジェネリック差額通知	全て	男女	0～74	加入者全員	1	キ,ク		サ			-継続	後発医薬品切替率向上	2017年3月の数量割合は64.7%で、他健保と比べ2.7ポイント低い	
配布率(【実績値】100% 【目標値】令和3年度：100%)-												後発医薬品利用率(【実績値】68% 【目標値】令和3年度：76%)-				

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 事業名の後に「*」がついている事業は共同事業を指しています。

注3) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業

注4) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認（要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況） ウ. 受診状況の確認（がん検診・歯科健診の受診状況） エ. ICTの活用（情報作成又は情報提供でのICT活用など） オ. 専門職による対面での健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施
キ. 定量的な効果検証の実施 ク. 対象者の抽出（優先順位づけ、事業所の選定など） ケ. 参加の促進（選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備） コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 シ. 事業主と健康課題を共有 ス. その他

注5) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 専門職との連携体制の構築（産業医・産業保健師を除く） エ. 他の保険者との共同事業 オ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 カ. 自治体との連携体制の構築 キ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 ク. 保険者協議会との連携体制の構築
ケ. その他の団体との連携体制の構築 コ. 就業時間内も実施可（事業主と合意） サ. 運営マニュアルの整備（業務フローの整理） シ. 人材確保・教育（ケースカンファレンス/ライブラリーの設置） ス. その他

STEP 4-1 事業報告

事業の一覧

職場環境の整備

加入者への意識づけ

1 ICTによる情報発信

個別の事業

1 特定健診（被保険者）

2 特定保健指導

3 人間ドック

4 婦人健康診断

5 郵送がん検診（大腸がん）

6 郵送がん検診（子宮がん）

7 常備薬の配付

8 インフルエンザ予防接種補助

9 遠隔地体育行事補助

10 特定健診（被扶養者）

11 ウォーキングラリー

12 生活習慣病受診勧奨通知

14 ジェネリック差額通知

【保健事業の基盤】 職場環境の整備

【保健事業の基盤】 加入者への意識づけ

1 事業名	ICTによる情報発信						
健康課題との関連	<p>加入者の健康状態は様々に分布しており、中でも「不健康な生活群」：17.6% 「患者予備群」：14.6% 「治療放置群」：12.8% 4割程度を占めていることがわかった</p> <p>また、上記階層の対象者の半数以上は非肥満であることがわかり、特定保健指導対象からも漏れていることがわかった。</p>						
分類							
注1)事業分類	計画 2	実施主体	計画 1. 健保組合	予算科目	その他	新規・既存区分	既存
	実績 2		実績 1. 健保組合				
共同事業	共同事業ではない						
事業の内容							
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 被保険者					
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 被保険者					
注2)プロセス分類	計画 ア,エ,シ	実施方法	計画 -		予算額	-千円	
	実績 ア,エ,シ		実績 -				
注3)ストラクチャー分類	計画 ア,サ	実施体制	計画 -		決算額	-千円	
	実績 ア,サ		実績 -				
実施計画 (令和3年度)	継続						
振り返り	<p>実施状況・時期 ICTツール「PepUp」を2018年度に導入し、令和3年度で4年目を迎えた。これまでではなかなか登録率に伸びがなかったが、年度末時点で53.1%まで登録率が伸長した。</p> <p>成功・推進要因 ウォーキングラリーなど、各イベントが安定実施でき、また医療費通知等の機能の宣伝の甲斐もあり、登録が伸長したと考えられる。</p> <p>課題及び阻害要因</p> <p>被保険者100%の登録までは残り1500名ほどの登録が必要となる為、無関心層含めた巻き込みが必要。その為の機能周知や健康等に関するメリットを明確に伝える必要がある。</p>						
評価	4. 80%以上						
事業目標							

ヘルスリテラシーの向上

アウトプット指標 対象者への登録通知送付率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和3年度：100%/100% 【達成度】 100.0%） -[-]

アウトカム指標 ICT登録率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和3年度：50%/53% 【達成度】 106.0%） -[-]

【個別の事業】

1	事業名	特定健診（被保険者）							
健康課題との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健保全体の特定健診受診率は79.8%で、目標値90%に対して、-10.2% ・ 2016年度受診率の内訳 被保険者：95.1% 被扶養者：28.4% 								
分類									
注1)事業分類	計画	3-ア	実施主体	計画	3. 健保組合と事業主との共同事業	予算科目	特定健康診査事業	新規・既存区分	既存(法定)
	実績	3-ア		実績	3. 健保組合と事業主との共同事業				
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 被保険者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 被保険者							
注2)プロセス分類	計画	コ	実施方法	計画	-	予算額	-千円		
	実績	コ		実績	-				
注3)ストラクチャー分類	計画	ア,キ	実施体制	計画	-	決算額	-千円		
	実績	ア,キ		実績	-				
実施計画 (令和3年度)	継続								
振り返り	実施状況・時期 6月・10月 成功・推進要因 事業主の定期健診と同時に実施している 事業主側にて前年度の健診結果分析レポートを提供することで健診前の意識改善にも訴求し、レポート内容も毎年ブラッシュアップしている 課題及び阻害要因 健康レポートならびにICTと連動させたインセンティブ等で被扶養者含めた受診および健診値の改善に努める必要がある								
評価	4. 80%以上								
事業目標									

健康状態の可視化

アウトプット指標

事業主または健診機関への情報提供を呼び掛ける（【平成29年度末の実績値】100%【計画値/実績値】令和3年度：100%/100% 【達成度】100.0%）事業主または健診機関に対し、健診結果の情報提供を求める[-]

アウトカム指標

健診受診率（【平成29年度末の実績値】90%【計画値/実績値】令和3年度：95%/79% 【達成度】83.2%）特定健診受診率90%（被保険者：95%）[-]

2	事業名	特定保健指導							
健康課題との関連	特定保健指導の対象者数が増加している 2015年度：208人 2016年度：221人（前年比+13人）								
分類									
注1)事業分類	計画	4-ア	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	特定保健指導事業	新規・既存区分	既存(法定)
	実績	4-ア		実績					
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 被保険者,被扶養者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 被保険者,被扶養者							
注2)プロセス分類	計画	オ,ク,ケ	実施方法	計画				予算額	-千円
	実績	オ,ク,ケ		実績					
注3)ストラクチャー分類	計画	ア	実施体制	計画				決算額	-千円
	実績	ア		実績					
実施計画(令和3年度)	継続								
振り返り	実施状況・時期		1月～3月						
	成功・推進要因		事業主と指導機関との連携						
	課題及び阻害要因		指導を拒否する方へのアプローチ方法						
評価	4. 80%以上								
事業目標									

メタボリックシンドローム減少を目標に、保健指導を実施。

アウトプット指標 指導実施の案内率（【平成29年度末の実績値】100%【計画値/実績値】令和3年度：100%/100% 【達成度】100.0%）-[-]

アウトカム指標 特定保健指導実施率（【平成29年度末の実績値】50%【計画値/実績値】令和3年度：40%/55.1% 【達成度】137.8%）-[-]

3事業名	人間ドック								
健康課題との関連	悪性腫瘍罹患者の診療開始年齢を分析した結果若年層からがん患者が上昇傾向にあることが分かった。また、がんの疾病別構成比は増加しており、その他を除くがん種別では乳がんの医療費が最も高い								
分類									
注1)事業分類	計画	3-イ,3-ウ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	3-イ,3-ウ		実績					
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 30～74 対象者分類 被保険者,被扶養者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 30～74 対象者分類 被保険者,被扶養者							
注2)プロセス分類	計画	ウ	実施方法	計画				予算額	-千円
	実績	ウ		実績					
注3)ストラクチャー分類	計画	ス	実施体制	計画				決算額	-千円
	実績	ス		実績					
実施計画(令和3年度)	継続								
振り返り	実施状況・時期		5～12月						
	成功・推進要因		社内報等の告知 提携機関の見直しを実施。北海道や東北地域に住む家族向けの提携先を追加検討						
	課題及び阻害要因		ICTと絡めた更なる意識改革が必要						
評価	4. 80%以上								
事業目標									

がん等の早期発見・早期治療

アウトプット指標 対象者への周知率（【平成29年度末の実績値】100%【計画値/実績値】令和3年度：100%/100% 【達成度】100.0%）-[-]

アウトカム指標 特定健診を兼ねる為、特定健診受診率で評価とする
(アウトカムは設定されていません)

4事業名	婦人健康診断								
健康課題との関連	悪性腫瘍罹患者の診療開始年齢を分析した結果若年層からがん患者が上昇傾向にあることが分かった。また、がんの疾病別構成比は増加しており、その他を除くがん種別では乳がんの医療費が最も高い								
分類									
注1)事業分類	計画	3-イ,3-ウ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	3-イ,3-ウ		実績	1. 健保組合				
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 女性 年齢 30～74 対象者分類 被保険者,任意継続者							
	実績	対象事業所 全て 性別 女性 年齢 30～74 対象者分類 被保険者,任意継続者							
注2)プロセス分類	計画	ウ	実施方法	計画	-	予算額	-千円		
	実績	ウ		実績	-				
注3)ストラクチャー分類	計画	サ,ス	実施体制	計画	-	決算額	-千円		
	実績	サ,ス		実績	-				
実施計画(令和3年度)	継続								
振り返り	実施状況・時期		5～12月						
	成功・推進要因		社内広報・ホームページで告知徹底 提携機関の見直しを実施。北海道や東北地域に住む家族向けの提携先を追加検討						
	課題及び阻害要因		ICTと絡めた更なる意識改革が必要						
評価	4. 80%以上								
事業目標									

がん等の早期発見・早期治療

アウトプット指標 対象者への周知率（【平成29年度末の実績値】100%【計画値/実績値】令和3年度：100%/100% 【達成度】100.0%）-[-]

アウトカム指標 特定健診と兼ねている為、特定健診受診率で評価とする
(アウトカムは設定されていません)

5事業名	郵送がん検診（大腸がん）								
健康課題との関連	悪性腫瘍罹患者の診療開始年齢を分析した結果若年層からがん患者が上昇傾向にあることが分かった。また、がんの疾病別構成比は増加しており、その他を除くがん種別では乳がんの医療費が最も高い								
分類									
注1)事業分類	計画	3-ウ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	3-ウ		実績	1. 健保組合				
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 30～74 対象者分類 被保険者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 30～74 対象者分類 被保険者							
注2)プロセス分類	計画	ウ	実施方法	計画	-	予算額	-千円		
	実績	ウ		実績	-				
注3)ストラクチャー分類	計画	サ,ス	実施体制	計画	-	決算額	-千円		
	実績	サ,ス		実績	-				
実施計画(令和3年度)	継続								
振り返り	実施状況・時期		10月						
	成功・推進要因		社内広報・ホームページで告知徹底						
	課題及び阻害要因		未受診者へのアプローチ						
評価	4. 80%以上								
事業目標									

がんの早期発見・早期治療

アウトプット指標 対象者への周知率（【平成29年度末の実績値】100%【計画値/実績値】令和3年度：100%/100% 【達成度】100.0%）-[-]

アウトカム指標 利用人数（【平成29年度末の実績値】50人【計画値/実績値】令和3年度：50人/389人 【達成度】778.0%）-[-]

6	事業名	郵送がん検診（子宮がん）							
健康課題との関連	悪性腫瘍罹患者の診療開始年齢を分析した結果若年層からがん患者が上昇傾向にあることが分かった。また、がんの疾病別構成比は増加しており、その他を除くがん種別では乳がんの医療費が最も高い								
分類									
注1)事業分類	計画	3-ウ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	3-ウ		実績	1. 健保組合				
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 女性 年齢 30～74 対象者分類 被保険者							
	実績	対象事業所 全て 性別 女性 年齢 30～74 対象者分類 被保険者							
注2)プロセス分類	計画	ウ	実施方法	計画	-	予算額	-千円		
	実績	ウ		実績	-				
注3)ストラクチャー分類	計画	サ,ス	実施体制	計画	-	決算額	-千円		
	実績	サ,ス		実績	-				
実施計画(令和3年度)	継続								
振り返り	実施状況・時期		5月						
	成功・推進要因		社内広報・ホームページで告知徹底						
	課題及び阻害要因		未受診へのアプローチ						
評価	4. 80%以上								
事業目標									

がんの早期発見・早期治療

アウトプット指標 対象者への周知率（【平成29年度末の実績値】100%【計画値/実績値】令和3年度：100%/100% 【達成度】100.0%）-[-]

アウトカム指標 利用人数（【平成29年度末の実績値】50人【計画値/実績値】令和3年度：50人/245人 【達成度】490.0%）-[別のがん関連検診実績としては以下
乳がん検診 利用人数：155名
頸動脈エコー検査 利用人数：238名]

7事業名	常備薬の配付								
健康課題との関連	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）								
分類									
注1)事業分類	計画	8	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	8		実績	1. 健保組合				
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 被保険者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 被保険者							
注2)プロセス分類	計画	ス	実施方法	計画	-	予算額	-千円		
	実績	ス		実績	-				
注3)ストラクチャー分類	計画	サ	実施体制	計画	-	決算額	-千円		
	実績	サ		実績	-				
実施計画(令和3年度)	継続								
振り返り	実施状況・時期		11月・3月						
	成功・推進要因		社内広報・ホームページで告知徹底						
	課題及び阻害要因		薬の種類を充実させることでより多くの加入者に利用いただく						
評価	4. 80%以上								
事業目標									

加入者の健康維持増進と健保組合の医療費削減

アウトプット指標 加入者への周知率（【平成29年度末の実績値】100%【計画値/実績値】令和3年度：100%/100% 【達成度】100.0%）-[-]

アウトカム指標 -
(アウトカムは設定されていません)

8事業名	インフルエンザ予防接種補助								
健康課題との関連	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）								
分類									
注1)事業分類	計画	3-カ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	3-カ		実績					
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 被保険者,任意継続者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 被保険者,任意継続者							
注2)プロセス分類	計画	ケ	実施方法	計画				予算額	-千円
	実績	ケ		実績					
注3)ストラクチャー分類	計画	サ	実施体制	計画				決算額	-千円
	実績	サ		実績					
実施計画(令和3年度)	継続								
振り返り	実施状況・時期		10月～2月						
	成功・推進要因		社内広報・ホームページで告知徹底						
	課題及び阻害要因		未受診者へのアプローチ						
評価	4. 80%以上								
事業目標									

インフルエンザの重症化予防

アウトプット指標 対象者への周知率（【平成29年度末の実績値】100%【計画値/実績値】令和3年度：100%/100% 【達成度】100.0%）-[-]

アウトカム指標

予防接種利用人数（【平成29年度末の実績値】1,339人【計画値/実績値】令和3年度：1,500人/1,343人 【達成度】89.5%）-[コロナ禍に伴う個人の意識向上もあり、予防接種人数に対する実際の医療費はここ数年で大幅に減少]

9 事業名	遠隔地体育行事補助								
健康課題との関連	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）								
分類									
注1)事業分類	計画	8	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	体育奨励	新規・既存区分	既存
	実績	8		実績	1. 健保組合				
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 被保険者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 被保険者							
注2)プロセス分類	計画	ケ	実施方法	計画	-	予算額	-千円		
	実績	ケ		実績	-				
注3)ストラクチャー分類	計画	サ	実施体制	計画	-	決算額	-千円		
	実績	サ		実績	-				
実施計画(令和3年度)	継続								
振り返り	実施状況・時期		4月、6月、1月						
	成功・推進要因		社内広報等の告知						
	課題及び阻害要因		未参加者へのアプローチ						
評価	4. 80%以上								
事業目標									

健康増進・維持のため

アウトプット指標 対象者への周知率（【平成29年度末の実績値】100%【計画値/実績値】令和3年度：100%/100% 【達成度】100.0%）-[-]

アウトカム指標 -
(アウトカムは設定されていません)

10	事業名	特定健診（被扶養者）							
健康課題との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・健保全体の特定健診受診率は79.8%で、目標値90%に対して、-10.2% ・2016年度受診率の内訳 被保険者：95.1% 被扶養者：28.4% 								
分類									
注1)事業分類	計画	3-ア	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	特定健康診査事業	新規・既存区分	既存(法定)
	実績	3-ア		実績	1. 健保組合				
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 被扶養者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 被扶養者							
注2)プロセス分類	計画	ウ	実施方法	計画	-	予算額	-千円		
	実績	ウ		実績	-				
注3)ストラクチャー分類	計画	キ	実施体制	計画	-	決算額	-千円		
	実績	キ		実績	-				
実施計画(令和3年度)	継続								
振り返り	実施状況・時期 5月～12月 成功・推進要因 前年度未受診者に対して健診勧奨を実施 課題及び阻害要因 過去2年連続未受診層の受診率が低い。勤務先での受診者等、健保へ健診データが提供されていない 個別介入含め必要								
評価	2. 40%以上								

事業目標	
健康状態の可視化	
アウトプット指標	対象者への案内率（【平成29年度末の実績値】100%【計画値/実績値】令和3年度：100%/100% 【達成度】100.0%）郵送物、もしくはHPでの健診受診の周知[-]
アウトカム指標	健診受診率（【平成29年度末の実績値】75%【計画値/実績値】令和3年度：60%/27% 【達成度】45.0%）特定健診受診率90%（被扶養者：75%）[-]

11	事業名	ウォーキングラリー							
健康課題との関連	問診分析より「運動習慣なし」の該当者割合 男性被保険者：76.4% 女性被保険者：81.9%								
分類									
注1)事業分類	計画	5-イ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	体育奨励	新規・既存区分	新規
	実績	5-イ		実績	1. 健保組合				
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 被保険者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 被保険者							
注2)プロセス分類	計画	ア,ケ	実施方法	計画	-	予算額	-千円		
	実績	ア,ケ		実績	-				
注3)ストラクチャー分類	計画	サ	実施体制	計画	-	決算額	-千円		
	実績	サ		実績	-				
実施計画(令和3年度)	継続								
振り返り	実施状況・時期	ウォーキングラリーを春秋に実施							
	成功・推進要因	未登録の加入者に対して、登録再通知とともに起こったことでイベント促進及び登録率改善につながった							
	課題及び阻害要因	事業主と更なる連携を図り、参加人数を増加させる必要あり							
評価	4. 80%以上								
事業目標									

ウォーキングラリーによる健康増進

アウトプット指標 対象者への周知率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和3年度：100%/100% 【達成度】 100.0%） -[-]

アウトカム指標 参加人数（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和3年度：450人/480人 【達成度】 106.7%）登録者のうち、ウォーキングラリー参加人数[-]

12	事業名	生活習慣病受診勧奨通知							
健康課題との関連	健診とレセプトを突合した治療放置群分析により、健診結果が悪いにも関わらず通院をしていない対象者が367人いることがわかった。 また、CKDステージマップにより、CKDリスクG3a以上の対象者81人のうち、46人が未受診者であることがわかった								
分類									
注1)事業分類	計画	4-カ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	4-カ		実績					
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 加入者全員							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 加入者全員							
注2)プロセス分類	計画	イ,キ,ク	実施方法	計画				予算額	-千円
	実績	イ,キ,ク		実績					
注3)ストラクチャー分類	計画	サ	実施体制	計画				決算額	-千円
	実績	サ		実績					
実施計画(令和3年度)	継続								
振り返り	実施状況・時期	9月と2月に生活習慣病 9月に腎症 12月に生活習慣病に関連する治療中断者 上記通知を行なった。							
	成功・推進要因	生活習慣病や腎症、中断などそれぞれのリスク者にアプローチすることで重症化を広く防ぐ取り組みとして実施							
	課題及び阻害要因	効果検証およびICTツール等でも継続勧奨が必要							
評価	4. 80%以上								

事業目標	
生活習慣病の重症化予防	
アウトプット指標	送付率（【平成29年度末の実績値】100%【計画値/実績値】令和3年度：100%/100% 【達成度】100.0%）対象者への送付[-]
アウトカム指標	医療機関受診率（【平成29年度末の実績値】1.9%【計画値/実績値】令和3年度：15%/9.8% 【達成度】65.3%）-[9月実施のものを3月レセプトまで追いかけた結果]

14	事業名	ジェネリック差額通知							
健康課題との関連	2017年3月の数量割合は64.7%で、他健保と比べ2.7ポイント低い								
分類									
注1)事業分類	計画	7-イ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	その他	新規・既存区分	既存
	実績	7-イ		実績	1. 健保組合				
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～74 対象者分類 加入者全員							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～74 対象者分類 加入者全員							
注2)プロセス分類	計画	キ,ク	実施方法	計画	-	予算額	-千円		
	実績	キ,ク		実績	-				
注3)ストラクチャー分類	計画	サ	実施体制	計画	-	決算額	-千円		
	実績	サ		実績	-				
実施計画(令和3年度)	継続								
振り返り	実施状況・時期	年4回ICTを活用して差額通知の実施							
	成功・推進要因	差額が1円でもあれば差額通知を実施							
	課題及び阻害要因	ICT未登録者へのアプローチ							
評価	4. 80%以上								
事業目標									

後発医薬品切替率向上

アウトプット指標 配布率（【平成29年度末の実績値】100%【計画値/実績値】令和3年度：100%/53% 【達成度】53.0%）-[ICT登録者に対しての実績割合（被扶養者展開していない為あくまでアウトカム重視）]

アウトカム指標 後発医薬品利用率（【平成29年度末の実績値】68%【計画値/実績値】令和3年度：76%/81.79% 【達成度】107.6%）-[年度末時点の実績（全加入者）]

- 注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業
- 注2) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認（要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況） ウ. 受診状況の確認（がん検診・歯科健診の受診状況） エ. ICTの活用（情報作成又は情報提供でのICT活用など）
 オ. 専門職による対面での健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ. 定量的な効果検証の実施 ク. 対象者の抽出（優先順位づけ、事業所の選定など）
 ケ. 参加の促進（選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備） コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 シ. 事業主と健康課題を共有 ス. その他
- 注3) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 専門職との連携体制の構築（産業医・産業保健師を除く） エ. 他の保険者との共同事業 オ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 カ. 自治体との連携体制の構築
 キ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 ク. 保険者協議会との連携体制の構築 ケ. その他の団体との連携体制の構築 コ. 就業時間内も実施可（事業主と合意） サ. 運営マニュアルの整備（業務フローの整理）
 シ. 人材確保・教育（ケースカンファレンス／ライブラリーの設置） ス. その他